遠隔監視システム

コルソスCS·D7

通報装置

取扱説明書

第3版

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次の様になっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⚠警告 人が **死亡** または **負傷** を負う可能性が想定される内容です

- 機器本体から **煙** が出ていたり、 **へんな臭い** がする場合にはすぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。
- 機器本体から **異常音** が出ていたり、機器本体やコード類が **異常に高温** になっている場合にはすぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。
- 上記以外でも、機器をご使用中に **異常** と思われる状態になった場合には、すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。
- 機器に表示された電源電圧以外の電圧でご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- タコ足配線してご使用になりますと、火災の原因となりますので絶対におやめください。
- 電源コードを破損し断線させたり、内部電線を露出させたままご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり、危険ですので絶対におやめください。
- 機器本体の上に花びん、コップ、化粧品、植木鉢、薬品や水の入った容器、小さな金属物をのせたままご使用になりますと、こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- 機器本体をふろ場や加湿器のそばなど、湿気の多いところに置いたり、水がかかる恐れのある場所でご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- 機器本体内に水や金属、紙などの燃えやすい物が入った場合に、そのままご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり危険です。万一異物が入った場合には、すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくはご相談窓口までご連絡ください。
- 機器本体を倒したり逆さまにしたままでご使用になりますと火災、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- 電源コードを傷つける、加工する、無理に曲げる、無理に引っ張る、ねじる、たばねる、コードの上に重いものをのせることなどは、電源コードを断線させ火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- お客様ご自身で機器本体を分解し機器内部の清掃、修理、点検、改造を行うことは火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- 機器本体に水をかけたり、通風孔などの開口部から金属類や紙などの燃えやすいものを侵入させないでください。また、機器本体を倒したり、落下させたり、物をぶつけるなどの衝撃を与えないでください。火災、感電、故障の原因となり危険です。
- ぬれた手で電源コードや電源プラグにさわったり、機器を操作されますと感電の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- 機器内の蓄電池などの交換をお客様ご自身で行ったり、機器で指定されていない電池を使用されますと火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- 周辺装置を架空配線する場合は、避雷器など十分な保護対策を行ってください。

⚠注意 人が **傷害** を負う可能性が想定される内容、および **物的損害** のみ発生が想定される内容です

●機器本体を規定以外の設置方法（仰向け、横倒し、逆さまなど）でご使用にならないでください。通風孔をふさぎ、機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。

●機器本体を収納箱や本棚など風通しの悪い場所に置いてご使用にならないでください。機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。

●機器本体を直接じゅうたんの上や、布団の上に置いてご使用にならないでください。通風孔をふさぎ、機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。

●機器本体にテーブルクロスなどの通気性の悪いカバーを掛けてご使用にならないでください。通風孔をふさぎ機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。

●機器本体を屋外や直射日光の当たるところ、また冷暖房機の吹き出し口の前などに置いてご使用にならないでください。火災、故障の原因となります。

●機器本体をゴミやほこりの多い場所、また金属粉や有毒ガスの発生する場所に置いてご使用にならないでください。火災、故障の原因となります。

●機器本体をテレビ、ラジオ、スピーカや無線機などの強い磁気、電波を発生させる機器のそばに置いてご使用にならないでください。故障、誤動作の原因となります。

●機器本体に乗らないでください。倒れたり破損して、けがをする場合があります。

●長時間機器をご使用にならない場合には電源を切り、安全のためコンセントから電源プラグを抜いてください。

●機器本体に高温の発熱体や熱器具を近づけないでください。溶けて発火したり、変色する場合があります。

●電源コードを高温の発熱体や熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となる場合があります。

●機器本体を壁掛けにしてご使用になる場合には、振動や衝撃等によって落下しないようにしっかりと壁に固定してください。機器が落下して、けがをする場合があります。

●機器本体をぐらいついた台の上や傾いた所、また振動や衝撃を受けやすい場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをする場合があります。

●電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災、感電の原因となる場合があります。

●コンセントから電源プラグを抜く際は、必ず電源プラグ本体を持って抜くようにしてください。コードを引っ張りますと、コードが傷つき断線したり、火災、感電の原因となる場合があります。

●機器本体を移動させる場合には、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードを傷つけますと、火災、感電の原因となる場合があります。

お願い 本製品が本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねくことが想定される内容です

★ご使用にあたり次のお願いをお守りください。

●機器本体をベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。変色や変形、破損の原因となります。汚れがひどい場合には、布にうすめた中性洗剤を含ませ、よく絞ってから拭き取り、その後かわいた布で拭くようにしてください。

●機器本体を落としたり、強い衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。

●機器本体をテレビ、ラジオ、スピーカや無線機などの強い磁気、電波を発生させる機器のそばに置かないでください。故障や、誤動作の原因となる場合があります。

●お客様がご用意された機器を、本システムに接続してご使用になる場合には、あらかじめ販売店もしくはご相談窓口にご確認ください。

本文で、機器とは主装置などの全ての装置を示します

お使いになる前に

この度は、遠隔監視システム　コルソスCS･D7通報装置をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書を十分にお読みの上、正しくお使い下さいませ。

コルソスCS･D7の概要

コルソスCS･D7通報装置は、センサ等からの起動信号により、所定の宛先へ自動ダイヤル発信を行ない、異常／復旧情報やアナログ値情報を音声メッセージやDTMFデータで通報する装置です。

また、テレコントロール機能により、外部の専用受信システムや一般電話機等から回線を通じて、現在のセンサの状態を確認することや出力接点の遠隔制御を行うことができます。また、集音マイク、外部スピーカを接続し、臨場音聴取や拡声を行うことができます。各種オプションセット(別売)を組み合わせて、様々な機能を実現できます。

オプションセットは1セットの実装が可能です。

オプションセットを実装することにより、お客様のニーズに合わせたシステムの構築が簡単に実現できます。

例えばEVUセット(エレベータホン通話ユニットセット)を実装すれば、本装置にエレベータインターホンセットが接続できます。

エレベータホン子機からの起動信号により、所定の宛先に自動ダイヤル発信を行い、設置先／子機番号情報をデータで通報し、通報先とハンズフリー／プレストーク通話が可能です。

また、テレコントロール機能により、外部の専用受信システムや一般電話機等から回線を通じて、通話方式切替等の遠隔制御を行うことができます。

また、FAXセット（FAX通信ユニット）を実装することにより、従来の音声通報、データ（PB）通報に加え、FAXへの通報が可能となります。

FAXへは、各種状態発生情報を表示する異常復旧通報、前日のデータ集計結果等を表示する日報、前月のデータ集計結果等を表示する月報等の各帳票で通報します。

また、FAXからのテレコントロールにより、任意に現在の各種状態や前回、前々回の日報および月報を出力することも可能です。

・本書に記載されている図や文字等は印刷の関係上、実物とは異なることがあります。
・本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたら、お買い求め先へご連絡下さい。
・本書の他に工事説明書やそれぞれの製品に添付されている説明書等をよくお読みの上、本システムをご活用下さい。

目　次

1. 正しくお使い頂くために

2. システムの概要

3. 日常の運用について

目　次

4. 点検について

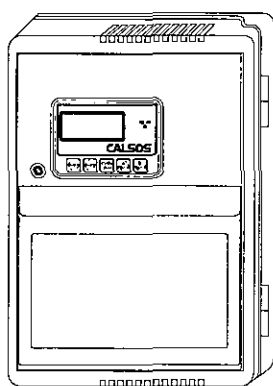
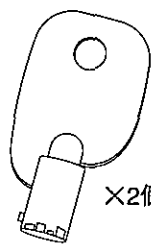
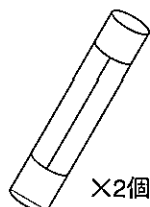
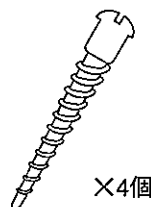
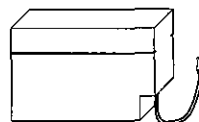
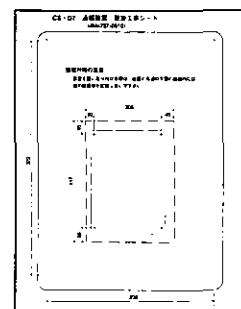
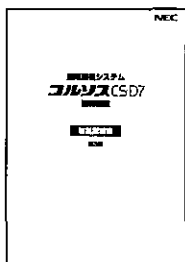
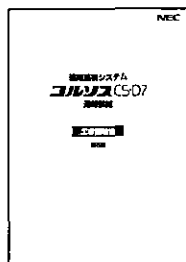
付録 システム外観図（取付穴寸法図含む）

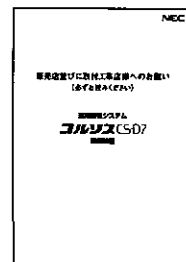
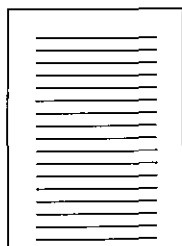
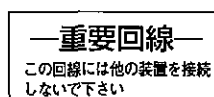
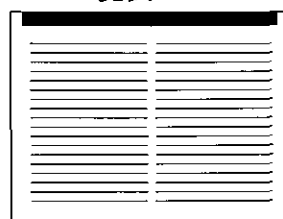
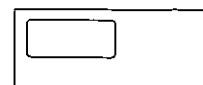
1. 正しくお使い頂くために

1. 構成品一覧

コルソスCS･D7通報装置をお買上げになられましたら、個装箱の中に下記の構成品が全て揃っていることを、ご確認下さい。

No	品　名	数　量	記　事
1	CS･D7通報装置(本体)	1	
2	カギ	2	
3	予備ヒューズ	2	250V／3.15A、250V／0.2A　各1
4	木ネジ	4	本体壁掛取付用(4.1mm×32mm)
5	蓄電池	1	本体バックアップ用　12V、0.8Ah
6	壁掛け工事シート	1	
7	CS･D7通報装置取扱説明書	1	
8	CS･D7通報装置工事説明書	1	
9	CS･D7通報装置システムデータ設定表	1	システムデータを記入
10	販売店並びに取付工事店様へのお願い書	1	
11	点検チェックリスト	1	
12	重要回線ラベル	3	設置後、電話回線等に貼付
13	商品ご相談窓口一覧表	1	
14	保証書	1	

1. CS･D7通報装置(本体)

2. カギ　3. 予備ヒューズ　4. 木ネジ　5. 蓄電池　6. CS・D7通報壁掛け工事シート

7. CS・D7通報装置取扱説明書

8. CS・D7通報装置工事説明書

9. CS・D7通報装置システムデータ設定表

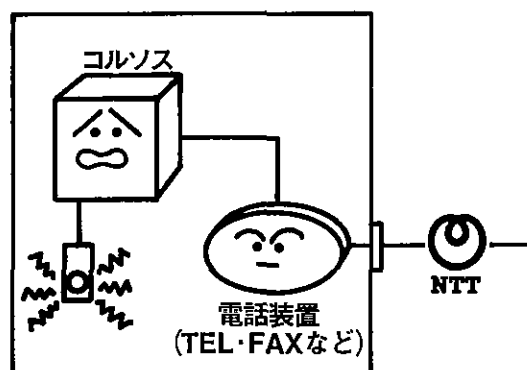
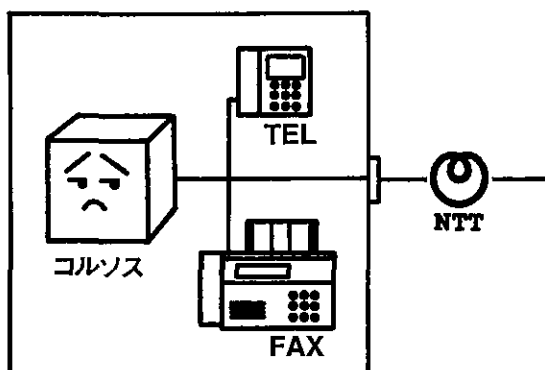
10. 販売店並びに取付工事店様へのお願い書

11. 点検チェックリスト

12. 重要回線ラベル

13. 商品ご相談窓口一覧表

14. 保証書

1. 正しくお使い頂くために

2. 注意事項 ⚠注意

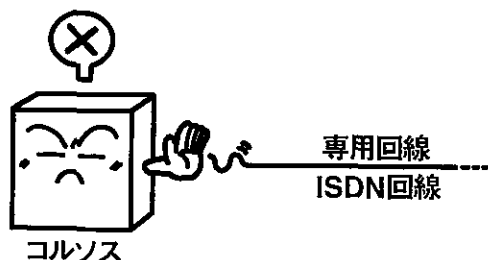
> この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
> 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

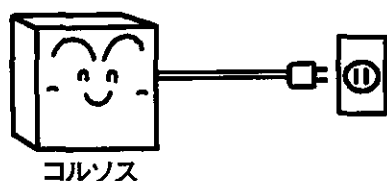
①電話回線に関する取扱

1)電話機、FAX等の接続

この装置と同じ回線に、電話機やFAX、回線線択アダプタなど、他の電話装置をブランチ（親子）接続したり、指定以外の方法で接続すると装置の正常な動作が妨げられますので、このような接続はしないで下さい。

2)接続できない回線

専用回線、ISDN回線への接続はできません。

また、一般加入回線であっても、発信電話番号通知サービス、キャッチホン等の付加サービスを利用すると本装置の正常な動作が妨げられることがあります。付加サービスの利用は行わないで下さい。

②装置の電源

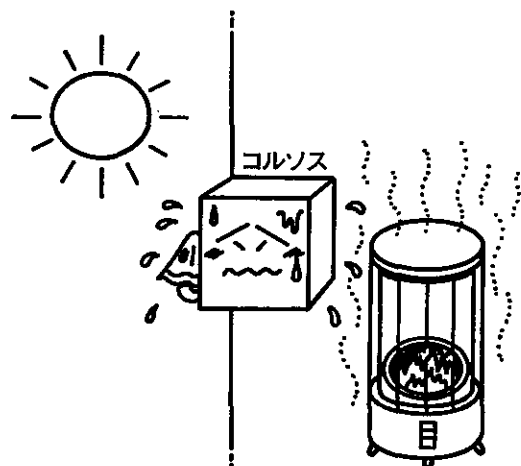
常時、電源が本体に供給されるように、24時間商用電源（AC100/200V）に接続して下さい。

⚠警告

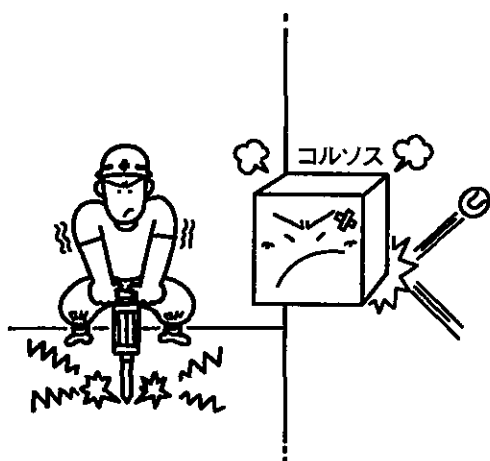
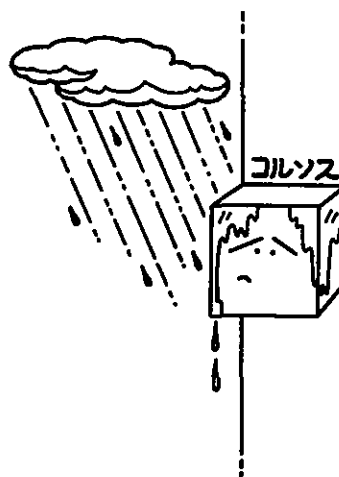
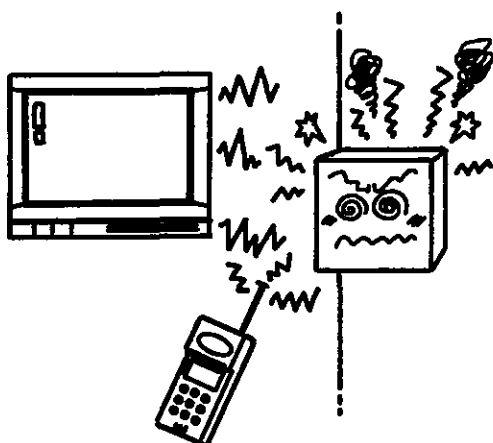
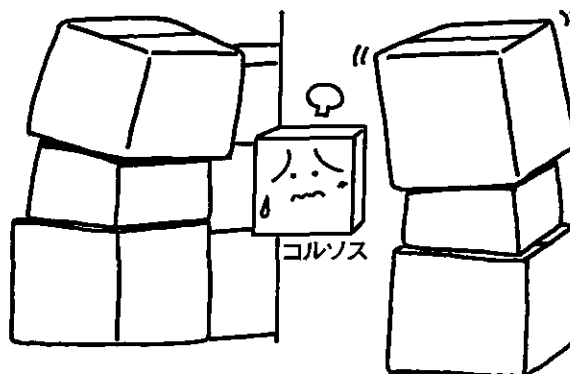
AC100V±10V(50Hz/60Hz)
AC200V±20V(50Hz/60Hz)

1. 正しくお使い頂くために

③設置環境(適用設置環境:温度−5〜+40℃、湿度:90%以下)

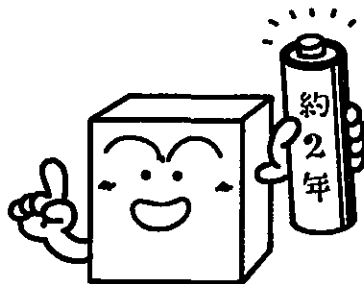
次のような場所に設置しますと故障や誤動作や変色、変形の原因になりますので避けてご使用下さい。

1) 直射日光、暖房器具などで高温、多湿になる場所

2) 著しく温度の低下する場所(冷蔵庫内等)

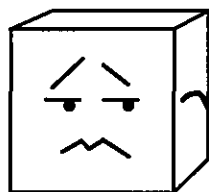
3) 振動・衝撃、ゴミ・ホコリが多い場所

4) 冠水、薬品類(ガソリン・ベンジン・シンナー等)のかかる恐れのある場所

5) 溶接機、高周波ミシンなど電気的ノイズを発生する物やラジオ、テレビなど高周波信号を扱っている機器に近い場所

6) 通行、物の出し入れがあり、保守点検作業に支障がある場所

④周辺装置の接続

1) センサ等には耐用年数が定められているものがあります。耐用年数経過後のセンサを使用すると、本装置の正常な動作が妨げられることがありますので、耐用年数経過後のセンサ等は絶対に使用しないで下さい。
2) 周辺装置が停止している場合は、本装置の正常な動作が妨げられます。周辺装置は電源の入った状態にしておいて下さい。

⑤蓄電池の交換 お願い

本装置には停電時でも一定時間(フル充電で6時間(蓄電池の増設により12時間)待機後3宛先への通報が可能(注1))は動作が行えるように、蓄電池が実装されています。電池寿命は使用頻度に依りますが約2年ですので、確実な停電動作を保持する為に2年毎に必ず交換して下さい(蓄電池交換時期通報を設定しておくと便利です(注2))。交換時期が来ましたら、ご購入店または取付工事店にご連絡下さい。(蓄電池品番：EX0303-0030)

注1. 「2.システムの概要」の「5.システム仕様」のページを参照願います。
注2. 「3.日常の運用について」の「■必ず実施して頂きたい機能」のページを参照願います。

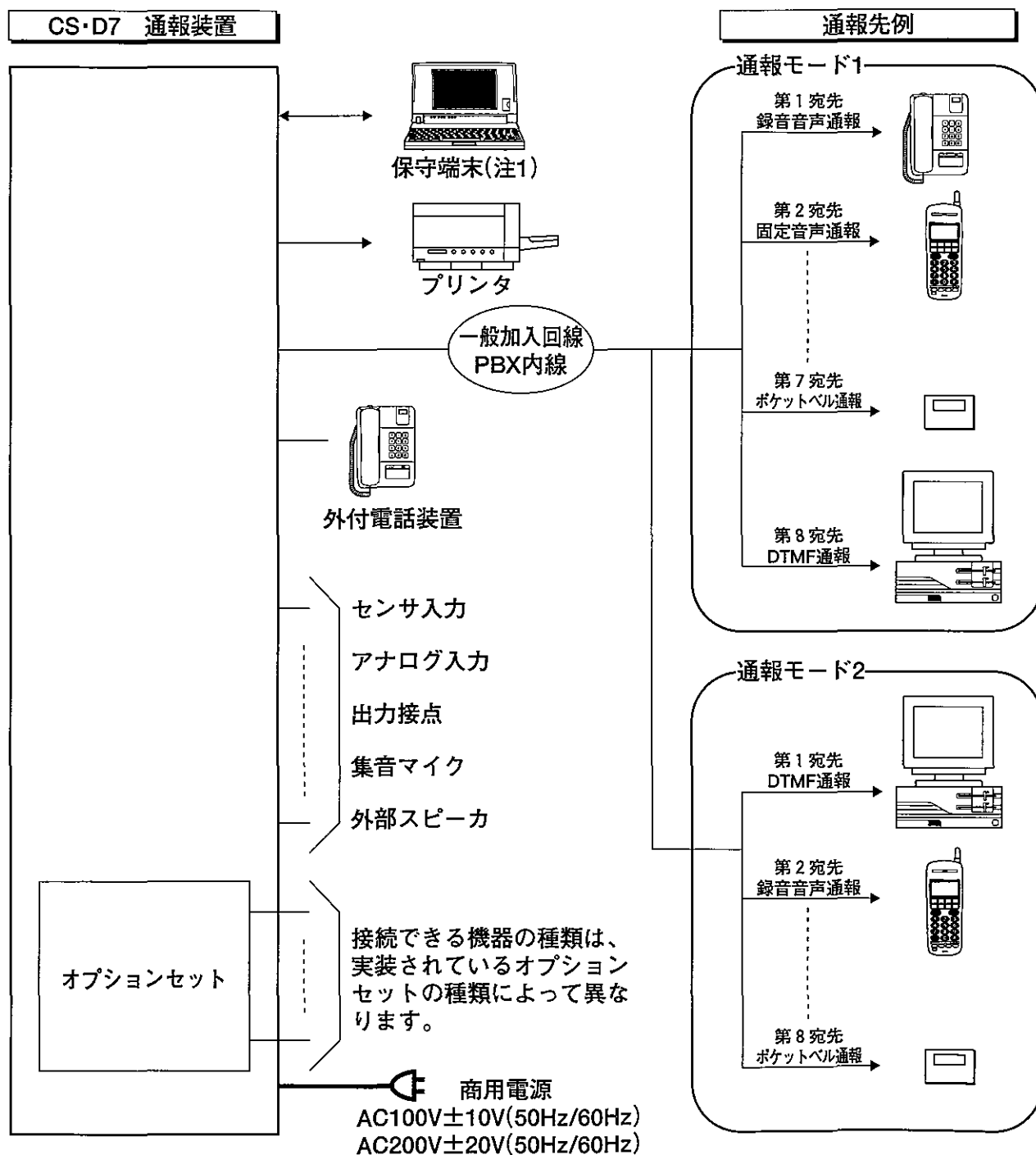
⑥その他

・装置内カバー扉の止めネジは外さないで下さい(工事が必要な時は取付工事店等にご連絡下さい)。
・通報宛先に「110」「119」番など警察、消防機関は設定しないで下さい。
・確実な運用を保持する為、定期的な点検を行って下さい。

3. おことわり

本装置は事故発生を防止する物ではありません。従いまして、万一事故が発生し、損害が生じましても当社では一切責任は負いかねますのでご了承下さいませ。

2. システムの概要

1. システム概要例

注意：オプションセットに接続された機器の通報先や通報宛先数は、オプションセットの種類により異なります。

※オプションセットは、別売です。

注1. 保守端末は、「保守用FDセット」(別売)が動作可能なパソコンのことです。

2. システムの概要

2. システム構成例

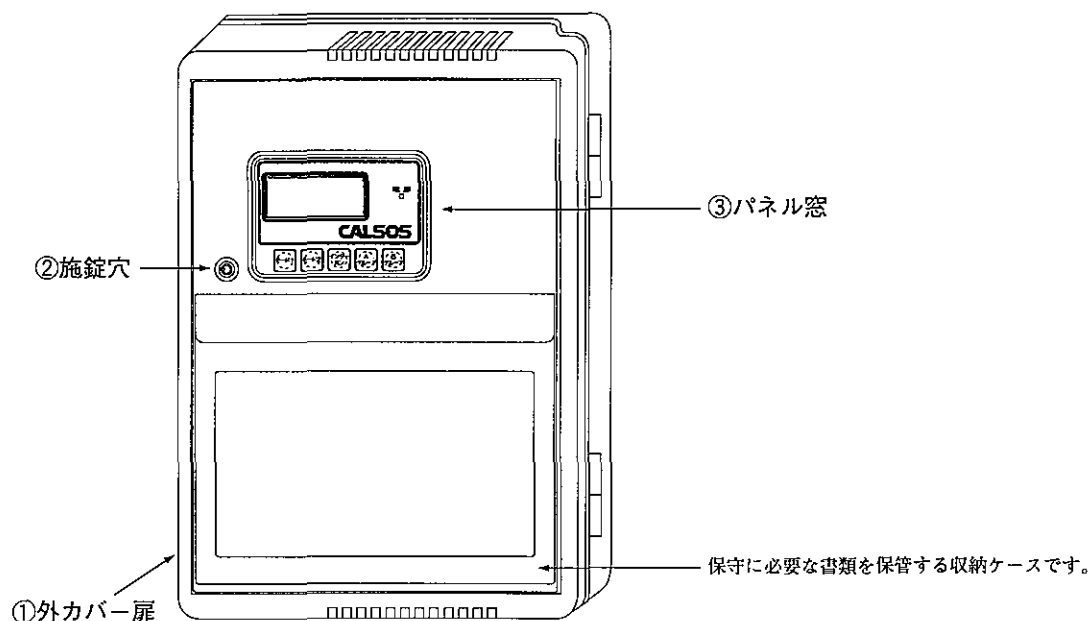
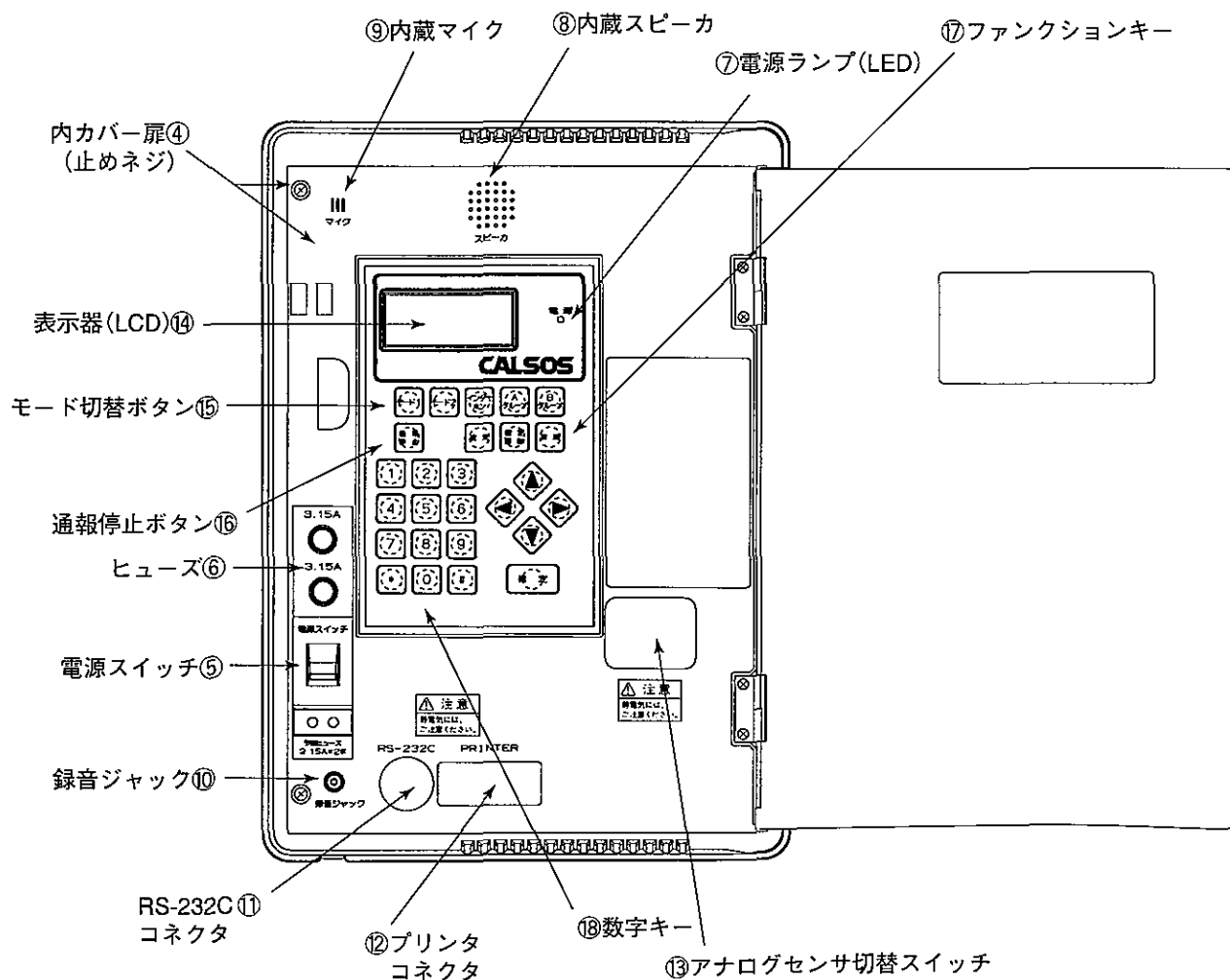
本装置にオプションとしてEVUセット：1セットを実装した場合の構成例です。

注1. 保守端末は、「保守用FDセット」(別売)が動作可能なパソコンのことです。

3. CS・D7通報装置各部の名称と働き

CS・D7通報装置(本体)外観図

CS・D7通報装置(本体)内観図

⑨内蔵マイク
⑧内蔵スピーカ
⑰ファンクションキー
⑦電源ランプ(LED)
内カバー扉④
(止めネジ)
マイク
スピーカ
表示器(LCD)⑭
CALSOS
モード切替ボタン⑮
通報停止ボタン⑯
ヒューズ⑥
3.15A
3.15A
電源スイッチ⑤
録音ジャック⑩
RS-232C
PRINTER
RS-232C ⑪
コネクタ
⑫プリンタ
コネクタ
⑱数字キー
⑬アナログセンサ切替スイッチ

2. システムの概要

No.	名　称	働　き
①	外カバー扉	工事・設定時に開けて作業を行い、終了後、専用カギで施錠します。 注意：この外カバー扉は防水・防沫仕様ではありません。
②	施錠穴	外カバー扉の開閉時に使用するカギ差込み穴です。
③	パネル窓	LCD表示確認及びモード切替ボタン操作用のパネル窓です。
④	内カバー扉	ネジ2ケで固定されています。
⑤	電源スイッチ	AC電源スイッチです。このスイッチをOFFにすると蓄電池も切り離され 充電及びバックアップはできなくなります。
⑥	ヒューズ	F1、F2ヒューズ:AC電源用(3.15A／250V) F3ヒューズ:蓄電池用(3.15A／250V)
⑦	電源ランプ	商用電源(AC100V／AC200V)が供給されている場合に緑色点灯します。 また、停電時(蓄電池動作中)に点滅します。
⑧	内蔵スピーカ	回線断警報音の送出や録音メッセージの再生に使用します。
⑨	内蔵マイク	メッセージの録音用マイクです。
⑩	録音ジャック	外部機器を使用しメッセージを録音するための録音ジャックです。 録音ジャック使用時(ジャックに接続時)は、内蔵マイクは使用できません。
⑪	RS-232C	保守端末により、システムデータのアップ／ダウンロードを行うためのシリアル端子です。 ケーブルは「保守用FDセット」の添付品を使用して下さい。　注1
⑫	プリンタ	指定プリンタを接続し、各種印刷を行います。 専用プリンタケーブル(別売)が必要となります。　注1
⑬	アナログセンサ切替スイッチ	アナログセンサ(電圧／電流入力)接続時、各切替を行います。 設定方法は、「工事説明書」を参照願います。　注1
⑭	表示器(LCD)	通報動作中の状態やキーボードメンテナンスの項目等を表示します。 待機中は時計表示になっています。
⑮	モード切替ボタン モード1 モード2 インターホン Aグループ Bグループ	2秒間押すことにより運用モードを切替えます。 ⑬⑭は、キーボードメンテナンスでも使用します。 キーボードメンテナンス時の働きは「3.日常の運用について」の「■キーボードメンテナンス機能」のページを参照願います。
⑯	通報停止ボタン	通報動作中及び通報待機中の入力を全てリセットします。
⑰	ファンクションキー 設定 設定解除 確定 取消 ↑ ↓ → ←	キーボードメンテナンス時に使用します。 キーボードメンテナンス時の働きは「3.日常の運用について」の「■キーボードメンテナンス機能」のページを参照願います。
⑱	数字キー	キーボードメンテナンス時に使用します。

注1. 使用する場合は、静電気にご注意下さい。

4. 機能概要表

注意：以下の機能概要表は、予告なしに変更または追加することがあります。
関連システムデータについては、「工事説明書」を参照願います。

■通報関係機能

◆通報機能

No	機能名称		機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	センサ入力通報		端子毎に以下の3種類から選択できます	種別（36）（30）（31）	
		異常・復旧通報	センサ入力状態の異常・復旧により通報する		
		パルス積算通報	センサ入力のメークした回数を積算し、積算値（1～65534回）により通報する		
		時間積算通報	センサ入力のメークしている時間(10秒単位)を積算し、積算値(10秒～約182時間)により通報する		
2	アナログ入力通報		端子毎に以下の2種類から選択できます。	種別（37）（30）（31）	
		異常・復旧通報	アナログ入力状態の異常・復旧（しきい値：5値）により通報する		
		アナログ積算通報	アナログ値を指定時間間隔（1～255分）で積算し、積算値（1～16777214）により通報する		
3	AND条件通報		複数のセンサ・アナログ入力状態のグループ異常／復旧により通報する	種別（40）（30）（31）	
4	定時通報		指定時刻（最大3時刻）、指定時間間隔（10分～10日）または、指定日により通報する	種別（41）（30）（31）	
5	定時状態通報		センサ／アナログ入力状態を指定時刻（最大3時刻）、指定時間間隔（10分～10日）または、指定日により通報する	種別（42）（30）（31）	
6	停電・復電通報		停電発生・復旧の検知（1秒～約16分）により通報する	種別（43）（30）（31）	
7	ローバッテリー通報		本体蓄電池による動作中、蓄電池の電圧低下により通報する	種別（44）（30）（31）	
8	蓄電池交換時期通報		蓄電池の交換を設定した交換時期（年月日時分）により通報する	種別（45）（30）（31）	
9	モード切替通報		通報モード1、2の切り替わりにより通報する	種別（47）（30）（31）	
10	一括通報		上記1～10の通報が同時に起動または保留した時、設定されている「通報グループ」が同じであれば一括で通報する	種別（33）	

◆通報方式選択機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	固定音声方式	固定メッセージ（登録済）で通報する	種別（30）	
2	録音音声方式	録音メッセージ（各入力毎に64フレーズ中16フレーズの組み合わせ）で通報する	種別（30）	
3	DTMF信号方式	DTMF信号（固定または設定）で通報する	種別（30）（11）（12）	
4	DTMF+固定音声方式	DTMF信号送出後、固定メッセージで通報する	種別（30）	
5	DTMF+録音音声方式	DTMF信号送出後、録音メッセージで通報する	種別（30）	
6	ポケットベル方式	ポケットベルにDTMF信号で通報する	種別（30）	
7	FAX	FAX帳票で通報する	注1	FAXU

◆マンマシン機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	通報モード切替	モード切替ボタン、内蔵タイマまたは外付スイッチ(タイマ)により、通報モード1、2を切り替える	種別（32）	
2	通報停止	通報停止ボタンまたは外部停止ボタンにより通報をキャンセルする	種別（33）	

◆通報連動機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	出力接点制御	通報動作に連動して出力接点を制御する	種別（31）（35）	
2	臨場音聴取	通報終了後、集音マイクにより臨場音を聴取する	種別（30）（36）（37）	
3	テレコントロール起動	通報終了後、テレコントロールを起動する	種別（30）	

◆履歴記録機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	通報動作記録	通報履歴を記録する（最大100件）		
2	センサ動作記録	センサの入力の動作（メーク／ブレーク）履歴を記録する（最大100件）	種別（36）	
3	アナログ定時記録	アナログ入力の状態（アナログ値）を指定時間間隔（1分～10日）で記録する（最大100件）	種別（37）（38）	
4	出力接点動作記録	出力接点の動作（メーク／ブレーク）履歴を記録する（最大100件）	種別（35）	
5	FAX統計	統計（日報／月報）データ、各入力の動作履歴を記録する	注1	FAXU

注1　種別（30）、（38）、（41）、（42）、（70）～（77）

2. システムの概要

◆動作／定時印刷機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	通報動作印刷	通報終了時に、通報履歴を外付けプリンタに印刷する	種別（33）	
2	センサ動作印刷	センサ入力の動作（メーク／ブレーク）時に、動作履歴を外付けプリンタに印刷する	種別（36）	
3	アナログ定時印刷	アナログ入力の状態（アナログ値）を指定時間間隔（1分～10日）で外付けプリンタに印刷する	種別（37）（38）	
4	出力接点動作印刷	出力接点動作（メーク／ブレーク）時に、動作履歴を外付けプリンタに印刷する	種別（35）	

■エレベータホン関係機能

◆基本機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	呼出モード切替	モード切替ボタンまたは内蔵タイマにより、呼出モード（親子通話モードまたはAグループまたはBグループ）を切り替える また、外付スイッチ(タイマ)により、呼出モード(インターホンまたはAグループ)を切り替える	種別（62）	EVU
2	エレベータ親子通話	エレベータ子機と親機でエレベータ親子通話をする		

◆通話機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	エレベータホン通報	エレベータ子機の呼出ボタンを押すことにより、エレベータホン通話先（AグループまたはBグループ）へ通報する	種別（60）（61）	EVU
2	エレベータホン通話	エレベータホン通報先と子機で通話する		
3	長時間通話監視	エレベータホン通話中に長時間通話監視タイムアウトすると、通報先に対し終話予告音［ピーピー…］を送出し、長時間通話切断タイムアウト後に回線を開放する機能。	種別（66）	
4	通話延長	終話予告音から30秒以内にDTMF［4］または［#］を受信することにより、終話予告音を停止し長時間監視タイマをリスタートする		

2. システムの概要

■システム機能

◆回線断検出機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	回線断記録	回線断及び復旧を履歴として記録する（最大20件）		
2	回線断警報	回線断を検出することにより、警報音を鳴動する	種別（03）	
3	回線断連動接点	回線断を検出に連動して出力接点を制御する		
4	回線断動作印刷	回線断及び復旧時、動作履歴を外付けプリンタに印刷する		

◆LCD表示機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	カレンダー表示	現在の月日、曜日、時刻を表示する		
2	モード表示	通報モード（1または2）及び呼出モード（インターホンモードまたはAグループまたはBグループ）を表示する		
3	サービス状態表示	実行中のサービス、及びサービス状態を表示する		
	通報状態表示	通報の要因、状態、結果、保留等を表示する		
	自動応答表示	着信に対して自動応答したことを表示する		
	テレコン状態表示	テレコン起動中であること、及びテレコン用サービス番号またはコマンド番号を表示する		
	オンラインメンテナンス状態表示	オンラインメンテナンス中であること、及びオンラインメンテナンス用コマンド番号を表示する		
	回線断表示	回線断を検出したことを表示する		
	システム一時停止表示	システム一時停止中であることを表示する		
	EEPROM異常表示	システムデータの保存に異常があったことを表示する		
	エレベータホン通報表示	エレベータホン通話中であることを表示する		EVU

◆ランプ表示機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	電源ランプ表示	AC電源動作中は電源ランプを点灯表示し、本体蓄電池による動作中は点滅表示する		

◆自動応答機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	自動応答	着信に対して自動応答し、「こちらは、×…×です」＋DTMFデータ［C］（×…×：ID番号）または、録音メッセージを送出する	種別（01）（20）	
2	暗証番号受信	暗証番号［*○○○○#］の受信により、テレコン（音声制御）、テレコン（センター装置制御）、テレコン（エレベータホン制御）またはオンラインメンテナンスを起動する	種別（21）	
3	自動状態通知	着信に対して自動応答し、センサ入力全端子の状態を送出する	種別（20）	

■テレコントロール機能

◆テレコン音声制御

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	テレコン（音声制御） 起動ガイダンス	テレコン（音声制御）の起動により、「サービス番号をどうぞ」を送出する	種別（21）	
2	サービス番号受信	以下のサービス番号の受信により、各サービスを実行する	種別（22）	
3	センサ情報収集 個別情報	[#11nn]（nn：センサNo.）の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「異常です」／「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（異常）」／「録音（復旧）」 ・nnの41～44がアナログの場合：「アナログnnです」	種別（36）	
	センサ情報収集 全端子情報	[#1199] の受信により、以下の音声を送出する ・異常端子がない場合：「異常ありません」 ・異常端子がある場合：「センサnn・・・センサnnが異常です」または 「録音（異常）＋録音（異常）・・・＋センサnn・・が異常です」		
	センサ情報収集 積算値情報	[#12nn]（nn：センサNo.）の受信により以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「（積算値）」＋「異常です／異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「（積算値）」＋「録音（異常）／録音（復旧）」 ・nnの41～44がアナログの場合：「アナログnnです」　（積算値：最大5桁）		
4	アナログ情報収集 個別情報	[#21nn]（nn：アナログNo.）の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「異常です」／「（しきい値No）が異常です」／「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（異常）」／録音（しきい値2または3の復旧）」 ・nn01～04がセンサの場合　：「センサnnです」　（しきい値No：1～4）	種別（37）	
	アナログ情報収集 全端子情報	[#2199] の受信により、以下の音声を送出する ・異常端子がない場合：「異常ありません」 ・異常端子がある場合：「アナログnnの（しきい値No）・・・＋アナログnnが異常です」または 「録音（異常）＋録音（異常）・・・＋アナログnn・・が異常です」		
	アナログ情報収集 アナログ値(積算値)情報	[#22nn]（nn：アナログNo.）の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「（積算値）」＋「異常です／（しきい値No）が異常です／異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「（積算値）」＋「録音（異常）／録音（復旧）」 ・nnの01～04がセンサの場合　：「センサnnです」　（積算値：最大8桁）		
5	出力接点情報収集 個別情報	[#31nn]（nn：出力接点No.）の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「オンです」／「オフです」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（オン）」／「録音（オフ）」	種別（35）	
	出力接点情報収集 全端子情報	[#3199] の受信により、以下の音声を送出する ・オン端子がない場合：「オンありません」 ・オン端子がある場合：「出力接点nn…出力接点nnがオンです」または 「録音（オン）＋録音（オン）・・・＋出力接点nn・・がオンです」		
6	出力接点制御 ON／OFF	[#41nn]（nn：出力接点No.）の受信により、出力接点nnをオンし、以下の音声を送出する [#61nn]（nn：出力接点No.）の受信により、出力接点nnをオフし、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「オンしました」／「オフしました」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（オン）」／「録音（オフ）」		
7	集音マイク制御 ON／OFF ゲイン調整	[#420n]（n：マイクNo.）の受信により、「オンしました」を送出後、マイクnをオンする [#6299] の受信により、マイクをオフし、「オフしました」を送出する 集音マイクオン中、[0](最小) ～ [3](最大) の受信により、マイクのゲインを制御する	種別（34）	
8	スピーカー制御 ON／OFF	[#430n]（n：スピーカーNo.）の受信により、「オンしました」を送出後、スピーカnをオンする [#6399] の受信により、スピーカをオフし、「オフしました」を送出する		
9	時計設定 月日／時刻／曜日	[#81MMDD]（MM：月, DD：日）の受信により、月日を設定する [#82hhmm]（hh：時, mm：分）の受信により、時分を設定する [#83W]（W：曜日, 日(1)～土(7)）の受信により、曜日を設定する		
10	積算値クリア センサ／アナログ	[#01nn]（nn：センサNo.または99でオールクリア）の受信により、センサ積算値をクリアする [#02nn]（nn：アナログNo.または99でオールクリア）の受信により、アナログ積算値をクリアする		
11	現在状態確認	[#5101] 異常復旧通報帳票に設定されている現在状態を送信します。	注1	FAXU
12	定時状態要素1（前回）	[#5111] 定時状態通報の要素01の条件で、前回通報された帳票を送信します。 （標準設定では、前日の日報となります。）		
13	定時状態要素1（前々回）	[#5112] 定時状態通報の要素01の条件で、前々回通報された帳票を送信します。 （標準設定では、前々日の日報となります。）		
14	定時状態要素2（前回）	[#5121] 定時状態通報の要素02の条件で、前回通報された帳票を送信します。 （標準設定では、前月の月報となります。）		
15	定時状態要素2（前々回）	[#5122] 定時状態通報の要素02の条件で、前々回通報された帳票を送信します。 （標準設定では、前々月の月報となります。）		
16	定時状態要素3（前回）	[#5131] 定時状態通報の要素03の条件で、前回通報された帳票を送信します。 （標準設定では、使用しません。）		
17	定時状態要素3（前々回）	[#5132] 定時状態通報の要素03の条件で、前々回通報された帳票を送信します。 （標準設定では、使用しません。）		
18	制御方式切替 音声／センタ	[#9101] の受信により、テレコンの制御方式を音声制御に切り替える [#9102] の受信により、テレコンの制御方式をセンタ装置制御に切り替える		
19	テレコン終了	[#9999] の受信により、回線を開放する機能。		

注1　種別（30）、（38）、（41）、（42）、（70）～（77）

2. システムの概要

◆テレコンセンタ制御

No	機 能 名 称	機 能 内 容	関連システムデータ	必要オプション
1	テレコン（センタ装置制御）起動ガイダンス	テレコン（センタ装置制御）の起動により、「コントロールを開始します」＋DTMFデータ［C］を送出する	種別（21）	
2	コマンド受信	以下のコマンドの受信により、各サービスを実行する	種別（22）	
3	センサ全端子情報収集	［#1199］の受信により、全てのセンサ入力の情報を送出する	種別（36）	
4	アナログ全端子情報収集	［#2199］の受信により、全てのアナログ入力端子の情報を送出する	種別（37）	
5	出力接点全端子情報収集	［#3199］の受信により、全ての出力接点の情報を送出する	種別（35）	
6	出力接点制御 ON／OFF	［#41nn］（nn：出力接点No.）の受信により、出力接点nnをオンする ［#61nn］（nn：出力接点No.）の受信により、出力接点nnをオフする		
7	積算値クリア センサ／アナログ	［#01nn］（nn：センサNo.または99でオールクリア）の受信により、センサ積算値をクリアする ［#02nn］（nn：アナログNo.または99でオールクリア）の受信により、アナログ積算値をクリアする		
8	制御方式切替 音声／センタ	［#9101］の受信により、テレコンの制御方式を音声制御に切り替える ［#9102］の受信により、テレコンの制御方式をセンタ装置制御に切り替える		
9	テレコン終了	［#9999］の受信により、回線を開放する		

◆テレコンエレベータホン制御

No	機 能 名 称	機 能 内 容	関連システムデータ	必要オプション
1	自動応答による エレベータホン通話	エレベータ暗証番号受話後のエレベータ子機番号の受信により、エレベータ子機と個別にエレベータホン通話をする	種別（21）	EVU
2	サービス番号受信	エレベータホン通話中の以下のサービス番号の受信により、各種サービスを実行する	種別（22）	
3	プレストーク送話	［2］受信以降は、かご内の音声をセンターに送出する		
4	プレストーク受話	［3］受信以降は、センターからの音声がかご内に送出される		
5	通話延長	終話予告音中から30秒以内に［4］または［#］受信により、終話予告音を停止し、「ピッピッピ」音を送出後、通話監視タイマをリスタートする		
6	終話	［6］受信により、3秒後に「ピー」を送出し、回線を開放する		
7	一斉受話	［7］受信により、センターからの音声が全かご内に送出される		
8	再送要求	［8］受信により、1秒後にセンターへ端末情報を送出する		
9	ハンズフリー通話	［9］受信により、3秒後に「ピー」を送出し、エレベータホン通話をハンズフリー通話へ切り替える		
10	ハンズフリー 受話レベル調整	［92n］（n：0〜7）受信により、ハンズフリー受話レベルを調整し、システムデータ設定値を変更する	種別（66）	
11	ハンズフリー 受話感度調整	［93n］（n：0〜7）受信により、ハンズフリー受話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する	種別（66）	
12	ハンズフリー 送話感度調整	［94n］（n：0〜7）受信により、ハンズフリー送話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する	種別（66）	
13	テレコン切替	［1］受信により、エレベータホン通話を終了し、テレコン音声制御へ切替える		

5. システム仕様

下表のシステム仕様は、予告なしに変更及び追加されることがあります。

◆NCU（回線）

No	項　目	最大容量	記　事
1	適用回線	1	一般加入回線またはPBX内線
2	ダイヤル方式		DP（10PPS）／DP（20PPS）／DTMF（PB）
3	ダイヤル桁数	32	0～9、＊、＃、ポーズ、フラッシュ
4	BT検出	有／無	
5	DTMF信号（データ）		
	送出ゲイン	0～14dB	調整は工事担当者の資格を有するものに限ります。

◆通報機能

No	項　目	最大容量	記　事
1	通報機能	10	①センサ（異常・復旧／パルス積算／時間積算） ②アナログ（異常・復旧（しきい値：5）／アナログ積算） ③AND条件　④定時　⑤定時状態　⑥停電・復電　⑦ローバッテリ ⑧蓄電池交換　⑨モード切替　⑩一括
2	センサ／アナログ入力	12	外部スイッチおよび外部停止ボタン設定時は、10入力
	センサ入力数	8	無電圧メーク／ブレーク接点
	センサ／アナログ選択入力数	4	センサ入力：無電圧メーク／ブレーク接点 アナログ入力：電圧0～4.9725V、電流0～20mA （アナログ入力時は、切替スイッチおよびシステムデータの設定が必要）
	入力検知時間	0.05秒～5分	
3	その他入出力		
	出力接点数	4	メーク／ブレークを設定可能
	集音マイク接続数	2	
	外部スピーカ接続数	1	
4	通報先		
	通報先電話番号登録件数	32	各通報先毎に以下を設定可能
	通報方式	6	固定音声／録音音声／DTMF／DTMF十固定音声／DTMF十録音音声／ポケットベル
	応答検出方式　音声通報	5	極性反転／応答タイマ／課金パルス／DTMF信号／オーディオ信号
	応答検出方式　DTMF通報	1	アンサ信号
	応答検出方式　ポケットベル通報	3	極性反転／応答タイマ／課金パルス
	通報グループ数	32	各通報グループ毎に以下を設定可能
	通報モード数	2	通報モード1／通報モード2
	通報宛先設定件数	8	通報先電話番号登録32の中から、通報モード（1／2）毎に設定可能
	自動発信回数	255	各通報グループ毎に設定可能

◆エレベータホン機能

No	項　目	最大容量	記　事
1	接続機器		
	インターホン親機接続数	1	
	インターホン子機接続数	4	
2	通報先		
	呼出モード数	3	インターホン／Aグループ／Bグループ
	通報先電話番号登録件数	3	各グループ(A／B)毎に設定可能
	応答検出方式	1	DTMF信号

◆FAX機能

No	項　目	仕様	記　事
1	形式	送信専用　G3機	
2	送信原稿サイズ	A4　幅216mm	
3	伝送速度	9600／7200／4800／2400bps 自動切替（フォールバック機能）	
4	走査線密度	主走査（水平）：8ドット／mm 副走査（垂直）：7.7本／mm	

6. システム定格

◆電源電圧・消費電力

動作電源電圧	AC100V±10V（50Hz/60Hz） AC200V±20V（50Hz/60Hz）				
消費電力	オプションユニット実装枚数	消費電力			
		待機時		動作時（最大）	
		100V系	200V系	100V系	200V系
	なし	4W	6W	10W	12W
	EVU：1	6W	8W	15W	17W
	FAXU：1	6W	8W	15W	17W

◆局線線路抵抗

局交換機品名	規格
A形およびH形	ループ抵抗1,000Ω以下
C1形およびC2形	ループ抵抗1,200Ω以下
クロスバ形（C1形およびC2形は除く）および D形（電子交換機）	ループ抵抗1,700Ω以下

◆大地アース

大地アース種別	規格
	第3種設置工事（100Ω以下）

◆停電動作

停電動作	充電時間
6時間(蓄電池の増設により12時間)待機後3宛先へ通報可能（ただし、オプションユニットおよび外部出力電源を使用しない場合）	48時間以上

◆使用温度・湿度範囲

使用温度範囲	使用湿度範囲
−5～40℃	90%以下

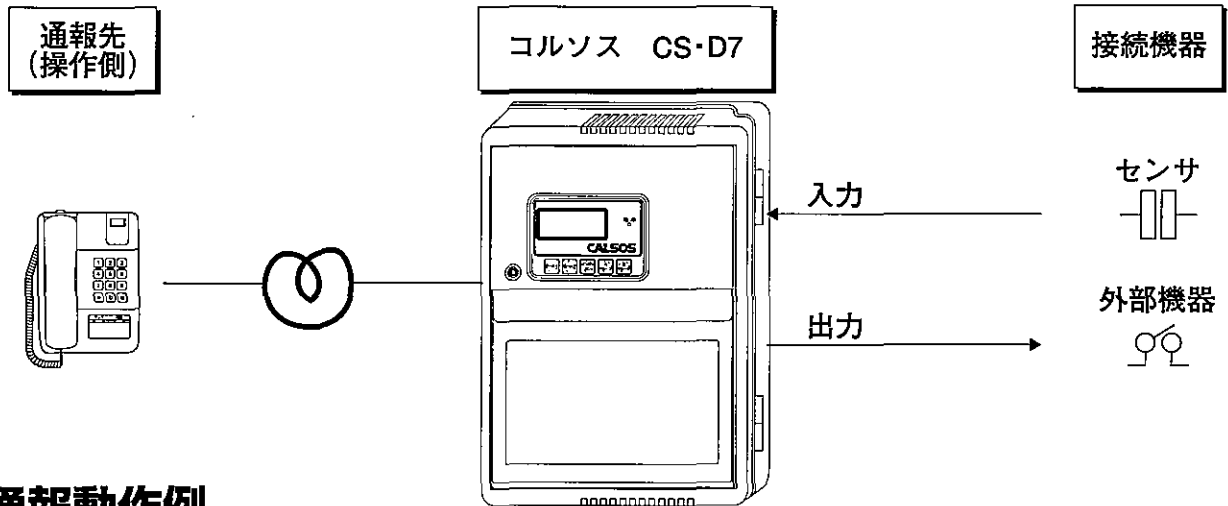
◆外形寸法および重量（ただしオプションセットの重量は含まれません）

装置名	重量	外形寸法（mm）		
		幅	高さ	奥行き
CS・D7通報装置	約3kg	263	355	74

◆認定番号および色（外観）

認定番号	色
S98-4065-0	マンセル　7.9Y　8.3／0.6

■システム動作例

以下のシステム構成で使用した場合のシステム動作例です。

1. 通報動作例

「センサ01の異常発生により、一般電話機に音声メッセージで通報する」場合。

通報先

コルソス　CS･D7の
動作及びLCD表示

接続機器

待機状態

```
 01—01 MON 12:30
モード゛ 1
```

現在の月日／曜日／時刻

通報モード

起動信号検出時

```
■01—01 MON 12:30
イシ゛ョウ01
         ホリュウ:XXX
```

装置起動中を示す
点滅表示

装置起動要因
・イジョウ（センサ異常）
・フッキュウ（センサ復旧）
等

①起動信号入力

センサ

通報が保留した場合のみ表示
XXX：保留件数

通報先ダイヤル及び呼出中

```
■01—01 MON 12:30
イシ゛ョウ01
01—01:0448111111
```

②通報先ダイヤル

通報先電話番号
通報グループNo—通報先No

通報先応答中

```
■01—01 MON 12:30
イシ゛ョウ01
01—01:オウトウ
```

③応　答
④通報メッセージ送出

通報先の状態
・オウトウ(相手応答)
・ビジー(相手話中)
・オウトウナシ(相手応答なし)
等

通報終了時

```
■01—01 MON 12:30
イシ゛ョウ01
01—01:OK
```

⑤切　断

通報結果
・OK(通報正常終了)
・ツウシンセツダン(相手途中切断)
・シンゴウナシ(エンド信号なし)
等

待機状態

```
 01—01 MON 12:30
リレキ:イシ゛ョウ01
 モード゛ 1
```

最新の通報履歴(注1)

注1　通報履歴の表示は「取消」キーを押すと消えます。

2. 通報動作印刷例

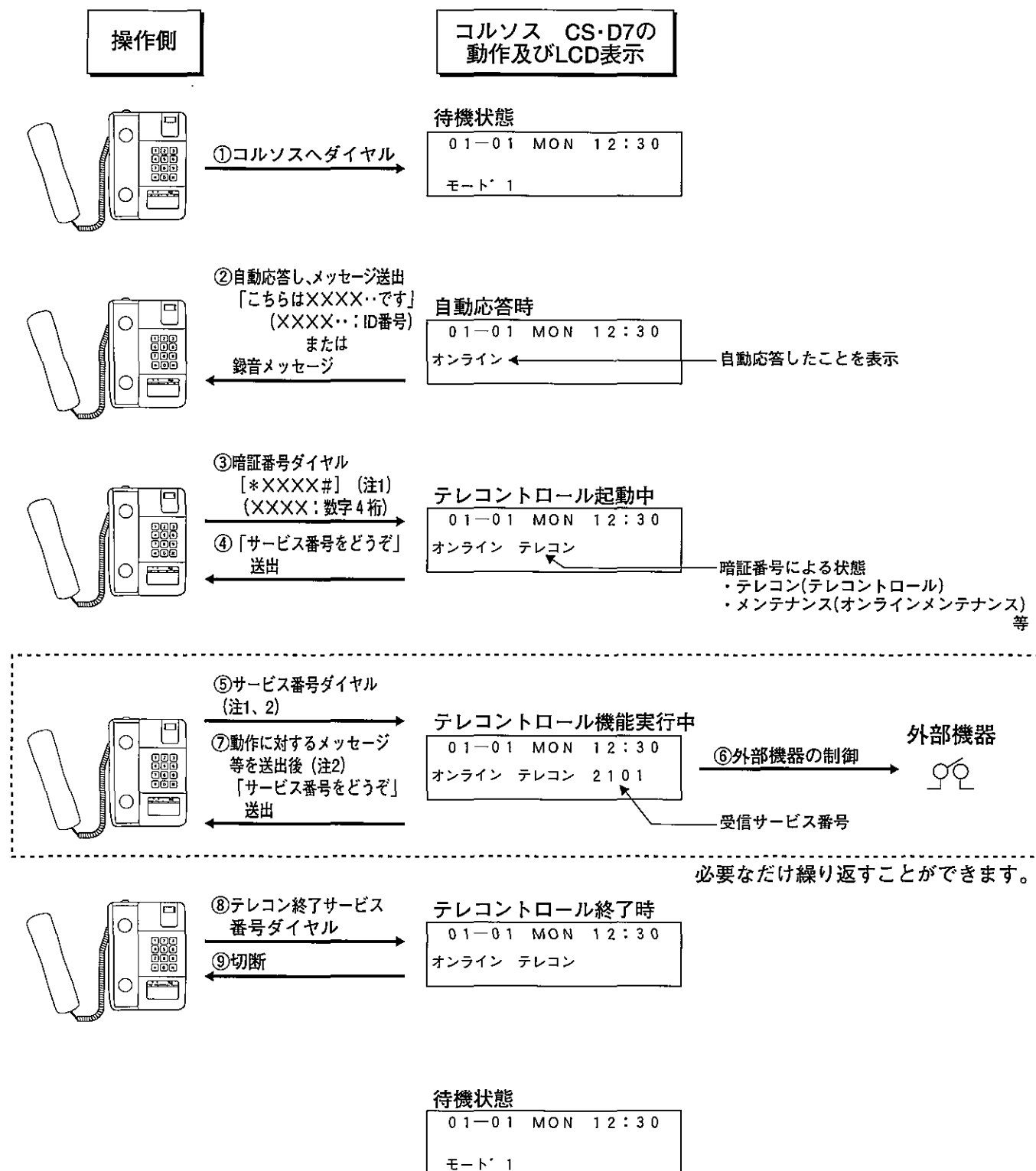
本装置にプリンタ(PC-PR系)を接続することにより、通報動作時、センサ入力動作時、アナログ入力定時、出力接点動作時等に既時に印刷します。

印刷する項目や端子Noはシステムデータの設定によります。

97-01-20	12：30：25	ｱﾅﾛｸﾞNo.01-5：　9異常	正常終了	0354672244
97-01-20	12：33：36	ｾﾝｻ　No.01 異常	正常終了	0354672244
97-01-20	12：34：09	ﾀﾝﾊﾟｰ	通報停止	0354672244
97-01-20	12：35：18	ﾓｰﾄﾞ切替　1→2	異常終了：ﾋﾞｼﾞｰ	0354672244
97-01-20	12：35：53	定時刻	正常終了	0354672244
97-01-20	12：36：45	定時刻状態	異常終了：通信中切断	0354672244
97-01-20	12：37：57	電池交換時期	異常終了：応答無	0354672244
97-01-20	12：38：45	停電	正常終了	0354672244
97-01-20	12：39：25	復電	正常終了	0354672244
97-01-20	12：52：46	ﾊﾟﾙｽ積算　No.03：01000	正常終了	0354672244
97-01-20	12：53：13	時間積算　No.04：05500	通報停止	0354672244
97-01-20	12：37：58	ｾﾝｻ　No.02　ﾒｰｸ		
97-01-20	12：37：59	ｾﾝｻ　No.02　ﾌﾞﾚｰｸ		
97-01-20	13：50：00	ｱﾅﾛｸﾞNo.01　9%		
97-01-20	13：50：00	ｱﾅﾛｸﾞNo.02　86%		
97-01-20	13：50：00	ｱﾅﾛｸﾞNo.03　28%		
97-01-20	13：50：00	ｱﾅﾛｸﾞNo.04　50%		
97-01-20	14：47：12	出力接点　No.01　ｵﾝ		
97-01-20	14：47：19	出力接点　No.01　ｵﾌ		
97-01-20	12：42：27	回線断		
97-01-20	12：42：30	回線断復旧		

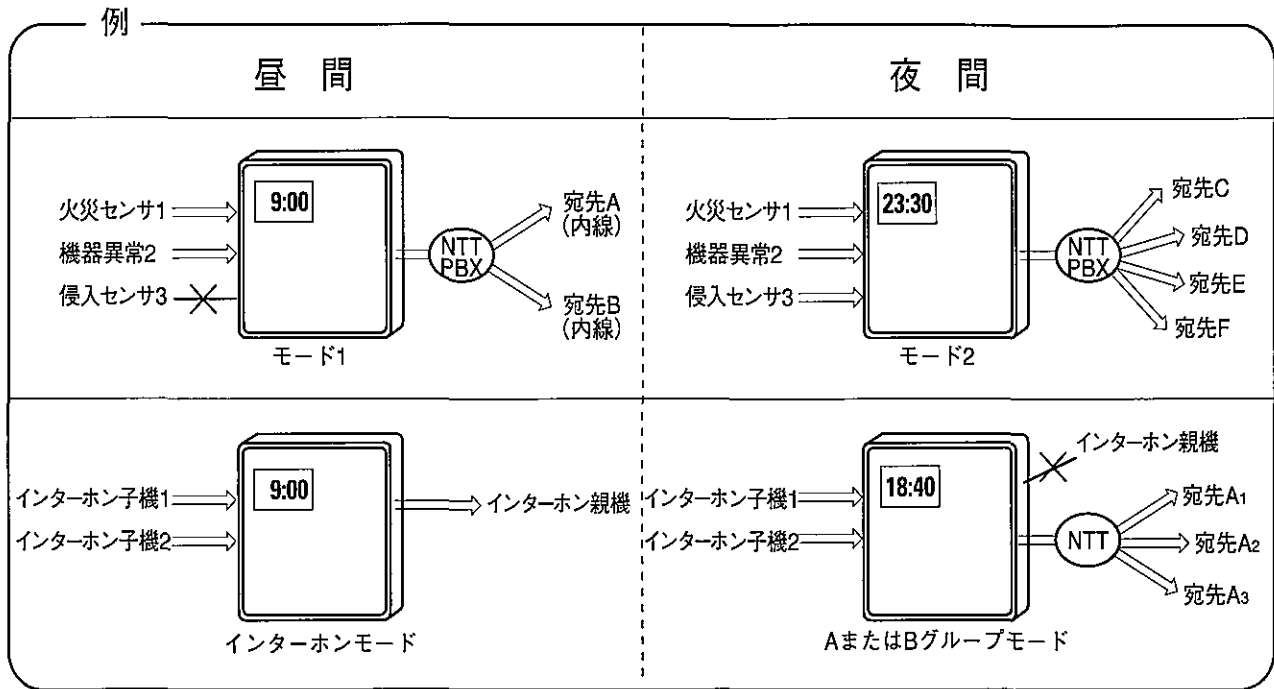
3. テレコントロール動作例

「一般電話機より、テレコントロールで出力接点01を動作させる(外部機器の制御)」場合。

注意：テレコントロールの暗証番号やサービス番号は、DTMF(PB)信号ですので、操作する電話機はDTMF(PB)信号の送出可能なものを使用して下さい。

注1 誤った暗証番号やサービス番号を受信すると「ピッピッピ」というエラー音を操作側に送出します。

注2 サービス番号や動作に対するメッセージは、「2.システムの概要」の「4.機能概要表」のページを参照願います。

4. 運用モードの切替

本体のモード切替・状態表示ボタンの2秒間押下や内蔵タイマまたは外付スイッチ(タイマ)入力で、モードを切替えて装置の運用方法を2通り(例:昼間と夜間)に使い分けることができます。
このモード切替により、通報宛先や入力可能機器(センサ等)を変えることができます。

■必ず実施して頂きたい機能

以下の機能は、機器本体及び設置先設備の確実な運用を保持する為の機能ですので、お客様に特別な事情が無い限り基本機能として実施して頂くよう、お願い申しあげます。
[ ] 内は、システムデータの種別Noです。

1. 定時または定時状態通報[種別(41)または(42)]

定時通報の実施により、設定した時間間隔または時刻に機器及び接続回線が正常であることを知らせることができます。また定時状態通報であれば同時にセンサ及びアナログ入力の状態を知らせることができます。

2. 停電・復電通報[種別(43)]

CS·D7通報装置本体のAC電源が停電または復電したとき、設定した通報宛先にその内容を知らせることができます。

3. ローバッテリー通報[種別(44)]

CS·D7通報装置本体のAC電源が停電して、内蔵の蓄電池で動作中、その蓄電池の電池切れを検出して設定した通報宛先にその内容を知らせることができます。

4. 蓄電池交換時期通報[種別(45)]

CS·D7通報装置本体に内蔵の蓄電池の交換時期(約2年後)を設定し、その年月日時刻になると設定した通報宛先にその内容を知らせることができます。

■キーボードメンテナンス機能（保守機能）

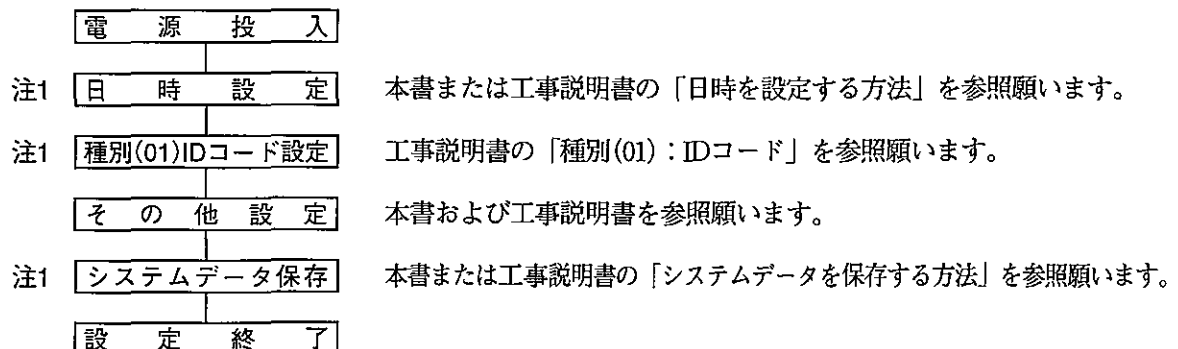
⚠注意：保守機能の実行中、本装置は運用停止となるため異常通報等ができません。
通常の監視機能（センサ入力、積算等）も作動しませんので、必ず保守機能が終了するまで監視先の状態に注意して下さい。特にオンラインメンテナンスは時間がかかる場合がありますので、監視先に人が立ち会うなどして十分注意して下さい。
また保守機能を実行する場合は、以下の事に注意して下さい。

- 出力端子（出力接点等）が動作している場合は、保守機能実行時に接点等が待機状態（設定）に戻ります。
- 入力端子（センサやアナログ）が動作している場合は、保守機能終了後に再通報します。
- 「定時（状態）間隔通報」、「アナログ入力定時記録·印刷」を運用している場合は保守機能実行時に動作間隔はリセットされ、保守機能終了後は、再度開始時刻になるまで動作しません。

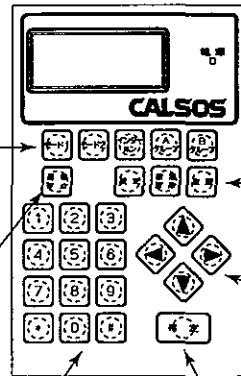
キーボードメンテナンスで実行できる機能は、下表の通りです。
キーボードメンテナンスの基本操作手順は、次ページを参照願います。
各機能を実行するにあたっては、参照ページをよく読み十分ご理解のうえ行って下さい。

No	機能名	機能概要	参照ページ
1	メッセージの録音	本装置の内蔵マイク等よりメッセージを録音します。	23～24
2	システムデータ設定		
	ノーマル設定	通常必要な基本的なシステムデータを順番に設定します。	25～26
	ダイレクト設定	必要な種別No等を入力してシステムデータを設定します。	27～28
	システムデータ保存	設定したシステムデータを保存します。	29～30
	システムデータ読込	設定途中で変更前のシステムデータに戻します。	31
	システムデータ初期化	システムデータを初期化(出荷時設定状態)します。	32
3	日時設定	日付、曜日、時刻を設定します。	33～34
4	端子状態	センサ、アナログの現在状態を表示します。	35
5	履歴表示	記録されている履歴を表示します。	36
6	プリントアウト	履歴、システムデータを外付プリンタに印刷します。	37～38
7	オンラインメンテナンス	簡易オンラインメンテナンス待ち状態にします。	39
8	システムバージョン	本装置のメインCPUのバージョンを表示します。	39
9	ユニットバージョン	本装置のサブCPUのバージョン及び状態を表示します。	40
10	履歴クリア	記録されている履歴をクリアします。	40
11	積算値クリア	センサ、アナログ端子に記録されている積算値をクリアします。	41
12	システムオールリセット	本装置のシステムデータ及び録音メッセージを全て初期化します。	41

◆新設時のシステムデータ設定について

新設時は、電源投入すると日時設定待ちとなります。必ず下記の手順で行って下さい。

注1．新設時については「日時設定」「システムデータ設定の種別(01)：IDコード設定」及び「システムデータ保存」を行わないと「設定解除」キーを押してもキーボードメンテナンス終了画面になりません。

3. 日常の運用について

◆キーボードメンテナンスで使用するキーの働き

◆キーボードメンテナンスの基本操作手順

キーボードメンテナンスを実行するにあたっては、必ず以下の操作手順にしたがって行って下さい。

---

1. 本装置が右のような状態であることを確認して下さい。
   尚、「モード1」「インターホン」は、実装されているオプションセットや設定により異なります。
   通報動作等により、本装置が起動中はキーボードメンテナンス状態になりません。

```
01―01 MON 12:30

モード゛1      インターホン
```

```
01―01 MON 12:30
リレキ：××××
モード゛1      インターホン
```

```
■01―01 MON 12:30
カイセン イシ゛ョウ
```

---

2. 待機状態より「設定」キーを3秒間押すと
   キーボードメンテナンス状態となりメインメニューを表示します。

メインメニュー
```
キーホ゛ート゛ メンテナンス
→メッセーシ゛ ロクオン
  システムテ゛ータ
```

---

3. 各機能を実行できます。
   各機能の実行方法は、各機能のページを参照願います。

メインメニュー
```
キーホ゛ート゛ メンテナンス
→メッセーシ゛ ロクオン
  システムテ゛ータ
```

---

4. メインメニューより「設定解除」キーを押すと
   キーボードメンテナンス終了画面となります。

   ただし、システムデータを設定または変更した場合、「システムデータ保存」を行っていないと警告画面が表示されます。
   警告画面が表示された時の操作方法は、「2-3.システムデータを保存する方法」のページを参照願います。

終了画面
```

シュウリョウ シマスカ？
カクテイ：YES トリケシ：NO
```
または

警告画面
```
システムテ゛ータ ヲ
      ホソ゛ン シテイマセン
シュウリョウ シマスカ？
カクテイ：YES トリケシ：NO
```

---

5. 「確定」キーを押すと待機状態に戻ります。

待機状態
```
01―01 MON 12:30

モード゛1      インターホン
```

---

3. 日常の運用について

1. メッセージを録音する方法

注意：メッセージを録音する前に

メッセージを録音する前には、必ず以下のシステムデータ設定を確認して下さい。尚、設定変更する場合は、「2-2.ダイレクト設定でシステムデータを設定する方法」の手順にしたがって設定して下さい。

「種別(02)：メッセージ録音条件／項目(01)：サンプリングレート」

サンプリングレート	録音時間	音質
8Kbps	約131秒（2分11秒）	下
12Kbps	約 86秒（1分26秒）	中
16Kbps（初期値）	約 65秒（1分 5秒）	上

本装置の内蔵マイクまたは録音ジャックよりメッセージを録音します。録音フレーズは、フレーズNo.00～63です。また、既に録音されているメッセージを再生または消去することもできます。

---

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー
```
キーボ゛ード゛　メンテナンス

→メッセージ゛　ロクオン
  システムデ゛ータ
```

---

2. 「確定」キー押します。

No.00録音画面 ← サンプリングレート
```
ロクオンサレテイマセン [16k]
フレーズ゛No:00
*:ロクオン
          ノコリ:65
```
← 録音可能な残り時間

---

3. 「*」キー押をすと録音を開始します。

また、以下の操作もできます。
- 「↑」「↓」でフレーズNoを切替えます。
- 「取消」でフレーズNo入力画面になります。

No.00録音中画面
```
ロクオンチュウ       [16k]
フレーズ゛No:00
        *:ロクオンテイシ
          ノコリ:XXX
```

---

4. 再度「*」キーを押すと録音を終了します。

No.00操作画面 ← フレーズ毎の録音時間(秒)
```
ロクオンズ゛ミ:XXX [16k]
フレーズ゛No:00
*:ロクオン    #:サイセイ
テイシ:クリア   ノコリ:XXX
```

---

5. 「↓」キーを押します。

（「↑」「↓」でフレーズNoを切替えます。）

また、以下の操作もできます。
- 「*」で上書き録音します。
- 「#」で再生します。
- 「0」でメッセージを消去します。
- 「取消」でフレーズNo入力画面になります。

No.01録音画面
```
ロクオンサレテイマセン [16k]
フレーズ゛No:01
*:ロクオン
          ノコリ:XXX
```

---

6. 操作3～5を繰り返し、各フレーズにメッセージを録音して下さい。

No.01録音画面
```
ロクオンサレテイマセン [16k]
フレーズ゛No:XX
*:ロクオン
          ノコリ:XXX
```

---

7. 「取消」キーを押します。

また、以下の操作もできます。
- 「*」で録音を開始します。
- 「↑」「↓」でフレーズNoを切替えます。

フレーズNo入力画面
```
                    [16k]
フレーズ゛No:■
    [0―63]:フレーズ゛No
      [99]:オールクリア
```

---

8. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

また、以下の操作もできます。
- 「数字」＋「確定」でフレーズNoを入力します。
- 「↑」「↓」「→」「←」でフレーズNo録音状況画面になります。（参考画面1参照）
- 「99」＋「確定」でフレーズのメモリオールクリア画面になります。（参考画面2参照）

メインメニュー
```
キーボ゛ード゛　メンテナンス

→メッセージ゛　ロクオン
  システムデ゛ータ
```

---

3. 日常の運用について

参考画面1：フレーズNo録音状況画面

```
ロクオンジ゛ョウキョウ [16k]
 60   61   62   63
→00R  01   02R  03R
 04   05   06   07
```

「R」マークのフレーズは録音されていることを示します。

- 「↑」「↓」「→」「←」キーでフレーズNoを選択できます。
- 「確定」キーで選択したフレーズNoの録音または操作画面になります。
- 「取消」キーでNo.00録音または操作画面になります。

参考画面2：メモリオールクリア画面

```
オールクリアシマスカ？
          テイシ：YES
        トリケシ：NO
```

- 「通報停止」でフレーズのメモリオールクリアをします。
- 「取消」キーでNo.00録音または操作画面になります。

2-1．ノーマル設定でシステムデータを設定する方法

本装置のシステムデータ設定をノーマル設定で行います。

ノーマル設定は、通常必要な基本的なシステムデータを順番に設定していく設定方法です。

各種別／項目の設定内容については、「工事説明書」を参照願います。

---

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー
```
キーボ゛ード゛　メンテナンス

→メッセーシ゛　ロクオン
　システムデ゛ータ
```

---

2. 「↓」キー＋「確定」キーを押します。

("→"を「システムデータ」に合わせ「確定」キーを押します。)

システムデータメニュー画面
```
システムデ゛ータ

→ノーマル　セッテイ
　ダ゛イレクト　セッテイ
```

---

3. 「確定」キーを押します。

ノーマル設定画面
```
01：IDコード゛  ← 種別No：名称
01：ID　No     ← 項目No：名称
[0−9]         ← 入力可能なデータ
■
```

---

4. 「数字」キーでID番号を設定します。

(例) 0123456789を設定する場合

また、以下の操作もできます。

- 「通報停止」で初期値になります。
- 「確定」で次項目を表示します。
- 「モード1」「モード2」で項目を切替えます。
- 「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

ノーマル設定画面
```
01：IDコード゛
01：ID　No
[0−9]
0123456789■
```

---

5. 「確定」キーを押します。

(「確定」キーを押すことにより、データが確定され、次項目を表示します。)

また、以下の操作もできます。

- 「通報停止」で初期値になります。
- 「モード1」「モード2」で項目を切替えます。
- 「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

ノーマル設定画面
```
01：IDコード゛
02：ID　メッセーシ゛
[0−63]
：■　　：
```

---

6. 操作4～5を繰り返し、必要な設定項目を設定して下さい。

ノーマル設定画面
```
01：IDコード゛
02：ID　メッセーシ゛
[0−63]（0／1）
：■　　：
```

---

7. 「取消」キーを押すとシステムデータメニュー画面になります。
"→"は「システムデータ保存」に表示します。

(「システムデータ保存」を行うことにより、設定したデータが、本装置に保存されます。
詳しくは「2.3.システムデータを保存する方法」のページを参照願います。)

システムデータメニュー画面
```
システムデ゛ータ
　ダ゛イレクト　セッテイ
→システムデ゛ータ　ホゾ゛ン
　システムデ゛ータ　ヨミコミ
```

---

8. 「確定」キーを押します。

システムデータ保存画面
```
システムデ゛ータ　ホゾ゛ン
システムデ゛ータ　ヲ
　　　　ホゾ゛ンシマスカ？
カクテイ：YES　トリケシ：NO
```

9.「確定」キーを押します。

データに問題のある場合、エラー表示となります。

(「23.システムデータを保存する方法」のページを参照願います。)

また、以下の操作もできます。

・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ整合性チェック画面

```
システムデ゛ータ
 セイコ゛ウセイ　チェックチュウ

     トリケシ：ホソ゛ンチュウシ
```

システムデータ保存中画面

```
システムデ゛ータ　ホソ゛ンチュウ

 シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
```

システムデータ保存終了画面

```
システムデ゛ータ　ヲ
          ホソ゛ンシマシタ

      HIT ANY KEY
```

10. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

```
システムデ゛ータ
 タ゛イレクト　セッテイ
→システムデ゛ータ　ホソ゛ン
 システムデ゛ータ　ヨミコミ
```

11.「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーホ゛ート゛　メンテナンス
 メッセーシ゛　ロクオン
→システムデ゛ータ
 ニチシ゛　セッテイ
```

2-2. ダイレクト設定でシステムデータを設定する方法

本装置のシステムデータ設定をダイレクト設定で行います。

ダイレクト設定は、必要な種別No等を入力してシステムデータを設定していく設定方法です。

各種別／項目の設定内容については「工事説明書」を参照願います。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー
```
キーボ゛ード゛  メンテナンス
→メッセージ゛  ロクオン
  システムデ゛ータ
```

2. 「↓」キー＋「確定」キーを押します。
(" →" を「システムデータ」に合わせ「確定」キーを押します。)

システムデータメニュー画面
```
システムデ゛ータ
→ノーマル セッテイ
  ダ゛イレクト セッテイ
```

3. 「↓」キー＋「確定」キーを押します。
(" →" を「ダイレクト　セッテイ」に合わせ「確定」キーを押します。)

種別入力画面
```
No:■
```

4. 「数字」キーで種別Noを入力します。
(例) 種別36を設定する場合
また、以下の操作もできます。
・「↑」「↓」「→」「←」で種別一覧画面（参考画面1参照）
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

要素入力画面
```
No:36(■
センサIN
センサNo?
[01−××]
```

5. 「数字」キーで要素Noを入力します。（要素がある場合のみ）
(例) 要素01を設定する場合
また、以下の操作もできます。
・「取消」で種別入力画面になります。

項目入力画面
```
No:36(01)−■
センサIN
```

6. 「数字」キーで項目Noを入力します。
(例) 項目01を設定する場合
また、以下の操作もできます。
・「↑」「↓」「→」「←」で項目一覧画面（参考画面1参照）
・「取消」で要素入力画面になります。

ダイレクト設定画面（要素No）
```
36:センサIN01
01:イジ゛ョウモード゛
  →メーク
   ブ゛レーク
```

7. 「↑」「↓」キーで異常モードを設定します。
(例) ブレークに設定する場合
また、以下の操作もできます。
・「通報停止」で初期値になります。
・「確定」で次項目を表示します。
・「モード1」「モード2」で項目Noを切替えます。
・「Aグループ」「Bグループ」で要素Noを切替えます。
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

ダイレクト設定画面
```
36:センサIN01
01:イジ゛ョウモード゛
   メーク
  →ブ゛レーク
```

8. 「確定」キーを押します。
(「確定」キーを押すことにより、データが確定され、次項目を表示します。)
また、以下の操作もできます。
・「通報停止」で初期値になります。
・「モード1」「モード2」で項目Noを切替えます。
・「Aグループ」「Bグループ」で要素Noを切替えます。
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

ダイレクト設定画面
```
36:センサIN01
02:ケンシュツタイマ
[5−30000(x10ms)]
:30→■
```

9.「取消」キーを押すと項目入力画面になります。

また、以下の操作もできます。

・「通報停止」で初期値になります。
・「確定」で次項目を表示します。
・「モード1」「モード2」で項目Noを切替えます。
・「Aグループ」「Bグループ」で要素Noを切替えます。

項目入力画面

```
No：36（01）－■
センサIN
```

10.「取消」キーを押すと要素入力画面になります。

また、以下の操作もできます。

・「数字」で項目Noを入力できます。

要素入力画面

```
No：36（■
センサIN
センサNo
［01－××］
```

11.「取消」キーを押すと種別入力画面になります。

また、以下の操作もできます。

・「数字」で項目Noを入力できます。

種別入力画面

```
No：■
```

12. 操作4～11を繰り返し、必要な設定項目を設定して下さい。

種別入力画面

```
No：■
```

13.「取消」キーを押すとシステムデータメニュー画面になります。
"→"は「システムデータ保存」に表示します。

（「システムデータ保存」を行うことにより、設定したデータが、本装置に保存されます。
詳しくは「23.システムデータを保存する方法」のページを参照願います。）

システムデータメニュー画面

```
システムデ゛ータ
 ダ゛イレクト セッテイ
→システムデ゛ータ ホゾ゛ン
 システムデ゛ータ ヨミコミ
```

14.「確定」キーを押します。

システムデータ保存画面

```
システムデ゛ータ ホゾ゛ン
システムデ゛ータ ヲ
        ホゾ゛ンシマスカ？
カクテイ：YES  トリケシ：NO
```

15.「確定」キーを押します。

データに問題がある場合、エラー表示となります。
（「23.システムデータを保存する方法」のページを参照願います。）
また、以下の操作もできます。

・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ整合性チェック画面

```
システムデ゛ータ
 セイゴ゛ウセイ チェックチュウ

   トリケシ：ホゾ゛ンチュウシ
```

システムデータ保存中画面

```
システムデ゛ータ ホゾ゛ンチュウ

 シハ゛ラク オマチクダ゛サイ
```

システムデータ保存終了画面

```
システムデ゛ータ ヲ
        ホゾ゛ンシマシタ

         HIT ANY KEY
```

16. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

```
システムデ゛ータ
 ダ゛イレクト セッテイ
→システムデ゛ータ ホゾ゛ン
 システムデ゛ータ ヨミコミ
```

17.「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーボ゛ード゛  メンテナンス
 メッセージ゛  ロクオン
→システムデ゛ータ
 ニチジ゛  セッテイ
```

参考画面1：種別一覧画面

```
→01：IDコード゛
 02：ロクオンジ゛ョウケン
 03：カイセンキノウ
 10：NCUキノウ
```

項目一覧画面（例：「種別（36）:センサ入力」の場合）

```
→01：イジ゛ョウモード゛
 02：ケンシュツタイマ
 03：ツウホウジ゛ョウケン
 04：ツウホウナイヨウ
```

・「→」でページ送りします。
・「←」でページ戻しします。
・「↑」「↓」で種別及び項目Noを選択できます。
・「確定」で選択した種別及び項目Noの設定画面になります。

2-3. システムデータを保存する方法

設定したシステムデータを保存します。

ノーマル及びダイレクト設定で設定したシステムデータは、本項目を行うことにより、装置に保存されます。

保存されたシステムデータは、初期化または変更したシステムデータを再度保存しない限りは、保持されます。

1. ノーマル設定及びダイレクト設定でシステムデータを設定した後、システムデータメニュー画面に戻ると、"→" は「システムデータ保存」に表示します。

システムデータメニュー画面

```
システムデ゛ータ
  ダ゛イレクト  セッテイ
→システムデ゛ータ  ホゾ゛ン
  システムデ゛ータ  ヨミコミ
```

2. 「確定」キーを押します。

システムデータ保存画面

```
システムデ゛ータ  ホゾ゛ン
システムデ゛ータ  ヲ
               ホゾ゛ンシマスカ？
カクテイ：YES  トリケシ：NO
```

3. 「確定」キーを押します。

システムデータに問題がある場合、エラー表示となります。

(次ページの「システムデータにエラーがある場合の操作方法」を参照願います。)

また、以下の操作もできます。

・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ整合性チェック画面

```
システムデ゛ータ
  セイゴ゛ウセイ  チェックチュウ

      トリケシ：ホゾ゛ンチュウシ
```

システムデータ保存中画面

```
システムデ゛ータ  ホゾ゛ンチュウ

  シバ゛ラク  オマチクダ゛サイ
```

システムデータ保存終了画面

```
システムデ゛ータ  ヲ
               ホゾ゛ンシマシタ

         HIT  ANY  KEY
```

4. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

```
システムデ゛ータ
  ダ゛イレクト  セッテイ
→システムデ゛ータ  ホゾ゛ン
  システムデ゛ータ  ヨミコミ
```

5. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーボ゛ート゛    メンテナンス
  メッセージ゛    ロクオン
→システムデ゛ータ
  ニチジ゛    セッテイ
```

システムデータにエラーがある場合の操作方法 (例) ID Noが未設定の場合

1. 前ページの操作3でシステムデータに問題があると、整合性チェック後、右のようなエラー画面を表示します。

エラー画面
```
システムデ゛ータ ニ
      エラー ガ゛ アリマス
 カクテイ:エラー サンショウ
 トリケシ:メニューニ モト゛ル
```

2. 「確定」キーを押します。
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」でメインメニューに戻ります。

エラー参照画面
```
01:IDコート゛
01:ID No
ミセッテイデ゛ス
```

3. 「確定」キーを押します。
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」で項目入力画面になります。
   ・「→」でエラーを選択できます。(複数のエラーがある場合)

ID No設定画面
```
01:IDコート゛
01:ID No
[0—9]
■
```

4. 「数字」キー十「確定」キーでID Noを設定します。
   また、以下の操作もできます。
   ・「確定」で次項目を表示します。
   ・「取消」で項目入力画面になります。

IDメッセージ設定画面
```
01:IDコート゛
02:ID メッセーシ゛
[0—63]
■     :
```

5. 「取消」キーを押すと項目入力画面になります。
   また、以下の操作もできます。
   ・「確定」で次項目を表示します。

項目入力画面
```
No:01—■
IDコート゛
```

6. 「取消」キーを押すと種別入力画面になります。
   また、以下の操作もできます。
   ・「数字」で項目Noを入力できます。

種別入力画面
```
No:■
```

7. 「取消」キーを押すとシステムデータ保存画面になります。

システムデータ保存画面
```
システムデ゛ータ ホソ゛ン
システムデ゛ータ ヲ
        ホソ゛ンシマスカ?
カクテイ:YES トリケシ:NO
```

8. 「確定」キーを押します。
   再度エラーとなった場合、操作1に戻ります。
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ整合性チェック画面
```
システムデ゛ータ ホソ゛ン
 セイコ゛ウセイ チェックチュウ

   トリケシ:ホソ゛ンチュウシ
```

システムデータ保存中画面
```
システムデ゛ータ ホソ゛ンチュウ

 シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

システムデータ保存終了画面
```
システムデ゛ータ ヲ
         ホソ゛ンシマシタ

       HIT ANY KEY
```

9. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面
```
システムデ゛ータ
 タ゛イレクト セッテイ
→システムデ゛ータ ホソ゛ン
 システムデ゛ータ ヨミコミ
```

10. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー
```
キーホート゛ メンテナンス
 メッセーシ゛ ロクオン
→システムデ゛ータ
 ニチシ゛ セッテイ
```

2-4. 変更前のシステムデータを読込む方法

設定途中(「システムデータ保存」を行う前)で、その設定前のシステムデータに戻します。

---

1. ノーマル設定及びダイレクト設定でシステムデータを設定した後、システムデータメニュー画面に戻ると、"→" は「システムデータ保存」に表示します。

システムデータメニュー画面

```
システムテ゛ータ
  タ゛イレクト セッテイ
→システムテ゛ータ ホソ゛ン
  システムテ゛ータ ヨミコミ
```

---

2. 「↓」キーを押します。
(“→” を「システムデータ　ヨミコミ」に合わせます。)

項目選択画面

```
システムテ゛ータ
  システムテ゛ータ ホソ゛ン
→システムテ゛ータ ヨミコミ
  システムテ゛ータ ショキカ
```

---

3. 「確定」キーを押します。
また、以下の操作もできます。
・「取消」でメインメニューになります。

システムデータ読込画面

```
システムテ゛ータ ヨミコミ
システムテ゛ータ ヲ
              ヨミコミマスカ?
カクテイ:YES  トリケシ:NO
```

---

4. 「確定」キーを押します。
また、以下の操作もできます。
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ読込中画面

```
システムテ゛ータ ヨミコミチュウ

  シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

システムデータ読込終了画面

```
システムテ゛ータ ヲ
              ヨミコミシマシタ

            HIT ANY KEY
```

---

5. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

```
システムテ゛ータ
  システムテ゛ータ ホソ゛ン
→システムテ゛ータ ヨミコミ
  システムテ゛ータ ショキカ
```

---

6. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーホ゛ート゛   メンテナンス
  メッセーシ゛  ロクオン
→システムテ゛ータ
  ニチシ゛  セッテイ
```

2-5. システムデータを初期化する方法

システムデータを初期化(出荷時の設定)します。但し、録音メッセージは、消去されません。

録音メッセージの消去については、「1.メッセージを録音する方法」のページを参照願います。

⚠注意：本装置に記録されているシステムデータが初期化されますので、十分注意して操作して下さい。

---

1. ノーマル設定及びダイレクト設定でシステムデータを設定した後、システムデータメニュー画面に戻ると、"→" は「システムデータ保存」に表示します。

システムデータメニュー画面
```
システムテ゛ータ
  タ゛イレクト セッテイ
→システムテ゛ータ ホソ゛ン
  システムテ゛ータ ヨミコミ
```

---

2. 「↓」キーを2回押します。
("→" を「システムデータ　ショキカ」に合わせます。)

システムデータメニュー画面
```
システムテ゛ータ
  システムテ゛ータ ヨミコミ
→システムテ゛ータ ショキカ
```

---

3. 「確定」キーを押します。
また、以下の操作もできます。
・「取消」でメインメニューになります。

システムデータ初期化画面
```
システムテ゛ータ ショキカ
システムテ゛ータ ヲ
          ショキカシマスカ?
カクテイ:YES トリケシ:NO
```

---

4. 「確定」キーを押します。
また、以下の操作もできます。
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ初期化中画面
```
システムテ゛ータ ショキカチュウ

  シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

システムデータ初期化終了画面
```
システムテ゛ータ ヲ
          ショキカシマシタ

        HIT ANY KEY
```

---

5. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面
```
システムテ゛ータ
  システムテ゛ータ ヨミコミ
→システムテ゛ータ ショキカ
```

---

6. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー
```
キーホ゛ート゛ メンテナンス
  メッセーシ゛ ロクオン
→システムテ゛ータ
  ニチシ゛ セッテイ
```

3. 日時を設定する方法

設定されている日時を変更します。

尚、新設時の日時設定は次ページの「新設時に日時を設定する方法」を参照願います。

---

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー
```
キーホ゛ート゛　メンテナンス
→メッセーシ゛　ロクオン
　システムテ゛ータ
```

---

2. 「↓」キー2回+「確定」キーを押します。
("→"を「ニチジ　セッテイ」に合わせ「確定」キーを押します。)

日時設定画面
```
ニチシ゛　セッテイ
→ヒツ゛ケ　ヨウヒ゛　シ゛コク
```

---

3. 「→」「←」キーで変更したい項目を選択し「確定」キーを押します。
(例) 時刻を変更する場合
また、以下の操作もできます。
・「↑」「↓」で現時刻表示画面になります。(参考画面1参照)
・「取消」でメインメニューになります。

時刻設定画面
```
ニチシ゛　セッテイ
ケ゛ンサ゛イ：12：00
　シ゛コク：■　：
```

---

4. 「数字」キーで時刻を設定します。
(例) 13：30を設定する場合
また、以下の操作もできます。
・「取消」で日時設定画面になります。

時刻設定画面
```
ニチシ゛　セッテイ
ケ゛ンサ゛イ：12：00
　シ゛コク：13：30
```

---

5. 「確定」キーを押します。
(「確定」キーを押すことにより、データが確定され、日時設定画面になります。)
また、以下の操作もできます。
・「取消」で日時設定画面になります。

日時設定画面
```
ニチシ゛　セッテイ
→ヒツ゛ケ　ヨウヒ゛　シ゛コク
```

---

6. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。
また、以下の操作もできます。
・「→」「←」でその他変更した項目の選択

メインメニュー
```
キーホ゛ート゛メンテナンス
　システムテ゛ータ
→ニチシ゛　セッテイ
　タンシ　シ゛ョウタイ
```

参考画面1：現時刻表示画面
```
ニチシ゛　セッテイ　　THU
96—01—01　　12：00
→ヒツ゛ケ　ヨウヒ゛　シ゛コク
```
← 現在記憶している日付、曜日、時刻を表示します。

新設時に日時を設定する方法

新設時の日時設定を行います。

新設時に本装置の電源をONしたり「システムオールリセット」を行った場合、自動的に本設定状態となります。

---

1. 新設時、本装置の電源をONします。
   または、「システムオールリセット」を行います。

日時設定画面
```
ニチシ゛　セッテイ

ヒツ゛ケ　カ゛　ミセッテイテ゛ス
→ヒツ゛ケ　ヨウヒ゛　シ゛コク
```

---

2. 「確定」キーを押します。

日付設定画面
```
ニチシ゛　セッテイ
ケ゛ンサ゛イ：ミセッテイ
　ヒツ゛ケ：■　－　－
```

---

3. 「数字」キーで日付を設定します。
   (例) 96年1月1日を設定する場合
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」で日時設定画面になります。

日付設定画面
```
ニチシ゛　セッテイ
ケ゛ンサ゛イ：ミセッテイ
　ヒツ゛ケ：96－01－01
```

---

4. 「確定」キーを押します。
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」で日時設定画面になります。

日時設定画面
```
ニチシ゛　セッテイ

ヨウヒ゛　カ゛　ミセッテイテ゛ス
　ヒツ゛ケ→ヨウヒ゛　シ゛コク
```

---

5. 「確定」キーを押します。

曜日設定画面
```
ニチシ゛　セッテイ
ケ゛ンサ゛イ：ミセッテイ
→SUN　TUE　THU　SAT
　　MON　WED　FRI
```

---

6. 「→」「←」キーで曜日を設定します。
   (例) 木曜日を設定する場合
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」で日時設定画面になります。

曜日設定画面
```
ニチシ゛　セッテイ
ケ゛ンサ゛イ：ミセッテイ
　SUN　TUE→THU　SAT
　　MON　WED　FRI
```

---

7. 「確定」キーを押します。
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」で日時設定画面になります。

日時設定画面
```
ニチシ゛　セッテイ

シ゛コク　カ゛　ミセッテイテ゛ス
　ヒツ゛ケ　ヨウヒ゛→シ゛コク
```

---

8. 「確定」キーを押します。

時刻設定画面
```
ニチシ゛　セッテイ
ケ゛ンサ゛イ：ミセッテイ
　シ゛コク：■　：
```

---

9. 「数字」キーで時刻を設定します。
   (例) 12：00を設定する場合
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」で日時設定画面になります。

時刻設定画面
```
ニチシ゛　セッテイ
ケ゛ンサ゛イ：ミセッテイ
　シ゛コク：12：00
```

---

10. 「確定」キーを押します。
    また、以下の操作もできます。
    ・「取消」で日時設定画面になります。

日時設定画面
```
ニチシ゛　セッテイ

　　トリケシ：メインメニュー
→ヒツ゛ケ　ヨウヒ゛　シ゛コク
```

---

11. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー
```
キーホ゛ート゛　メンテナンス

→メッセーシ゛　ロクオン
　システムテ゛ータ
```

4．各端子の現在状態をLCDに表示する方法

センサ入力、アナログ入力の現在の端子状態を表示します。

尚、出力接点は保守機能実行により待機状態に戻る為待機状態の確認となります。

積算値のクリアについては、「11.積算値をクリアする方法」のページを参照願います。

---

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー
```
キーボ゛ード゛  メンテナンス

→メッセージ゛  ロクオン
  システムデ゛ータ
```

---

2. 「↓」キー3回＋「確定」キーを押します。
(" →" を「タンシ　ジョウタイ」に合わせ「確定」キーを押します。)

端子状態メニュー画面
```
タンシ　シ゛ョウタイ

→センサ
  アナロク゛
```

---

3. 「確定」キーを押します。
(例) センサ入力の状態を確認する場合
また、以下の操作もできます。
・「↓」で端子選択できます。
・「取消」でメインメニューになります。

センサ入力状態表示画面
```
センサ
  01 [フ゛レーク] セイシ゛ョウ
  02 [メーク   ] イシ゛ョウ
  03 [メーク   ] ハ゛ルス
```
入力状態
入力状態に対する状態

---

4. 「↑」「↓」「→」「←」で各端子を確認します。
また、以下の操作もできます。
・「モード2」で積算値表示画面になります。(参考画面1参照)
・「取消」で端子状態メニュー画面になります。

センサ入力状態表示画面
```
センサ
  04 [フ゛レーク] シ゛カン
  05 [メーク   ] セイシ゛ョウ
  06 [メーク   ] モート゛ 1
```

---

5. 「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。

メインメニュー
```
キーボ゛ード゛  メンテナンス
  ニチシ゛  セッテイ
→タンシ  シ゛ョウタイ
  リレキ  ヒョウシ゛
```

参考画面1：積算値表示画面
```
センサ
  01 [フ゛レーク] セイシ゛ョウ
  02 [メーク   ] イシ゛ョウ
  03 [00475] ハ゛ルス
```
積算端子のみ積算値を表示します。

・「↑」「↓」「→」「←」で各端子を確認します。
・「モード1」でセンサ入力状態表示画面になります。
・「取消」で端子状態メニュー画面になります。

5．通報履歴等をLCDに表示する方法

通報、センサ入力、アナログ入力、出力接点、回線断の履歴を表示します。

通報動作、センサ入力、アナログ入力、出力接点は、最大：各100件、回線断は、最大：20件の履歴を蓄積できます。

尚、最大件数を超える履歴が発生した場合は、古い履歴から上書していきます。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー
```
キーボ゛ード゛　メンテナンス

→メッセージ゛　ロクオン
　システムデ゛ータ
```

2. 「↓」キー4回＋「確定」キーを押します。
(" →" を「リレキ　ヒョウジ」に合わせ「確定」キーを押します。

履歴表示メニュー画面
```
リレキ　ヒョウジ゛

→ツウホウ　　　　　　[005]
　センサ　　　　　　　[020]
```

3. 「確定」キーを押します。
(例) 通報履歴を確認する場合
また、以下の操作もできます。
・「↓」で履歴項目を選択できます。
・「取消」でメインメニューになります。

履歴表示画面
```
No:1　　　[MAX:006]
イシ゛ョウ　01　セイシ゛ョウ
96—11—01　13:02
```

4. 「↑」「↓」「→」「←」で履歴を確認します。
また、以下の操作もできます。
・「取消」で履歴表示メニュー画面になります。

履歴表示画面
```
No:6　　　[MAX:006]
イシ゛ョウ　08　オウトウナシ
96—11—01　09:05
```

5. 「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。

メインメニュー
```
キーボ゛ード゛　メンテナンス
　タンシ　シ゛ョウタイ
→リレキ　ヒョウシ゛
　フ゜リントアウト
```

6．システムデータ等をプリントアウトする方法

本装置にプリンタ(PC—PR系)を接続することにより、システムデータや履歴を印刷します。

⚠注意：本装置にプリンタを接続する場合は、静電気にご注意下さい。

印刷例は次ページを参照願います。

---

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー
```
キーホ゛ート゛  メンテナンス

→メッセーシ゛  ロクオン
  システムテ゛ータ
```

---

2. 「↓」キー5回＋「確定」キーを押します。
(" →" を「プリントアウト」に合わせ「確定」キーを押します。)

プリントアウトメニュー画面
```
フ゛リントアウト

→システムテ゛ータ インサツ
  リレキ インサツ
```

---

3. 「確定」キーを押します。
(例) システムデータを印刷する場合
また、以下の操作もできます。
・「取消」でメインメニューになります。

システムデータ印刷メニュー画面
```
システムテ゛ータ  インサツ

→セ゛ン  システムテ゛ータ
  システム  キノウ
```

---

4. 「確定」キーを押します。
(例) 全システムデータを印刷する場合
また、以下の操作もできます。
・「↓」で印刷項目を選択できます。
・「取消」でプリンタアウトメニュー画面になります。

システムデータ印刷メニュー画面
```
システムテ゛ータ インサツ
セ゛ン  システムテ゛ータ
  (インサツチュウ)
              トリケシ：チュウシ
```

---

5. 印刷が終わる（プリンタにデータ送出が終わる）とシステムデータ印刷メニュー画面になります。

システムデータ印刷メニュー画面
```
システムテ゛ータ  インサツ

→セ゛ン  システムテ゛ータ
  システム  キノウ
```

---

6. 「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。

メインメニュー
```
キーホ゛ート゛  メンテナンス
  リレキ  ヒョウシ゛
→フ゛リントアウト
  オンライン  メンテナンス
```

---

3. 日常の運用について

◆システムデータ印刷例

```
システムデータ設定内容                                作成時刻：97-01-20　11：34　Page：1

【通報機能】

 [30] 通報先

01：(01) 電話番号                        ：0354672244
    (02) 通報方式                        ：録音音声
    (03) 応答検出方式                    ：極性反転
    (04) 応答ﾀｲﾏ                         ：10 (10秒)
    (05) 応答DTMF                        ：#
    (06) 応答後音声ﾒｯｾｰｼﾞ送出遅延ﾀｲﾏ     ：1 (1秒)
    (07) 音声ﾒｯｾｰｼﾞ送出ﾀｲﾏ               ：6 (60秒)
    (08) 音声ﾒｯｾｰｼﾞ繰返ﾎﾟｰｽﾞﾀｲﾏ          ：1 (1秒)
    (09) 応答後ﾎﾟｹﾍﾞﾙﾃﾞｰﾀ送出遅延ﾀｲﾏ     ：10 (10秒)
    (10) DTMF後音声ﾒｯｾｰｼﾞ送出遅延ﾀｲﾏ     ：2 (2秒)
    (11) 通報確認                        ：無
    (12) 通報確認DTMF                    ：1
    (13) 臨場音聴取                      ：無
    (14) 臨場音聴取ﾏｲｸ番号               ：01
    (15) 臨場音聴取監視ﾀｲﾏ               ：60 (60秒)
    (16) ﾃﾚｺﾝ起動                        ：無
    (17) ﾃﾚｺﾝ制御方式                    ：音声

02：(01) 電話番号                        ：未設定

03：(01) 電話番号                        ：未設定

04：(01) 電話番号                        ：未設定
```

◆履歴印刷例

```
                                        通報動作履歴
001  97-01-20  12：39：25  復電                                  正常終了                 0354672244
002  97-01-20  12：38：45  停電                                  正常終了                 0354672244
003  97-01-20  12：30：35  ｾﾝｻ No.01 異常                        異常終了：回線異常       0354672244
004  97-01-20  12：20：20  ｱﾅﾛｸﾞNo.01-5：          9異常          異常終了：応答無         0354672244

             センサ動作履歴
001  97-01-20  12：52：51  ｾﾝｻ  No.04  ﾌﾞﾚｰｸ
002  97-01-20  12：52：40  ｾﾝｻ  No.04  ﾒｰｸ

            アナログ動作履歴
001  97-01-20  12：50：00  ｱﾅﾛｸﾞNo.04  50%
002  97-01-20  12：50：00  ｱﾅﾛｸﾞNo.03  28%
003  97-01-20  12：50：00  ｱﾅﾛｸﾞNo.02  86%
004  97-01-20  12：50：00  ｱﾅﾛｸﾞNo.01   9%

            出力接点動作履歴
001  97-01-20  12：47：30  出力接点  No.02  ｵﾌ
002  97-01-20  12：47：26  出力接点  No.02  ｵﾝ

             回線動作履歴
001  97-01-20  12：42：30  回線断復旧
002  97-01-20  12：42：27  回線断
```

7. 簡易オンラインメンテナンスを行う方法

本装置の設定に関係なくオンラインメンテナンスを行う事ができます。

本項目を実行状態とすると、本装置はオンラインメンテナンス待ち状態となり保守端末によるシステムデータのダウンロードやアップロード等を行うことができます。

---

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー
```
キーボ゛ード゛　メンテナンス

→メッセージ゛　ロクオン
　システムデ゛ータ
```

---

2. 「↓」キー6回＋「確定」キーを押します。
(" →" を「オンラインメンテナンス」に合わせ「確定」キーを押します。)

オンラインメンテナンス待ち画面
```
オンライン　メンテナンス　マチ
```

---

3. 本装置は、オンラインメンテナンス待ち状態となりますので
オンラインメンテナンスを実行できます。
また、以下の操作もできます。
・「取消」でメインメニューになります。

---

4. オンラインメンテナンスを終了すると自動的に
メインメニューに戻ります。

メインメニュー
```
キーボ゛ード゛　メンテナンス
　プ゛リントアウト
→オンライン　メンテナンス
　システム　インフォメーション
```

---

8. システムバージョンをLCDに表示する方法

本装置のメインCPUのバージョンを表示します。

---

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー
```
キーボ゛ード゛　メンテナンス

→メッセージ゛　ロクオン
　システムデ゛ータ
```

---

2. 「↓」キー7回＋「確定」キーを押します。
(" →" を「システム　インフォメーション」に合わせ「確定」キーを押します。)

システム表示画面
```
システム　　　：CS・D9―A ← ICカード名称
バ゛ージョン　：　3．00 ← バージョン
　　　　　　　（01．00）
```

---

3. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー
```
キーボ゛ード゛　メンテナンス
　オンライン　メンテナンス
→システム　インフォメーション
　ユニット　インフォメーション
```

---

9. ユニットバージョンをLCDに表示する方法

本装置のサブCPUの種類、状態及びバージョンを表示します。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーボ゛ード゛　メンテナンス →メッセージ゛　ロクオン 　システムデ゛ータ
2. 「↓」キー8回＋「確定」キーを押します。 ("→" を「ユニット　インフォメーション」に合わせ「確定」キーを押します。)	ユニット表示画面 スロットNo　：1 シュベ゛ツ　：NCU　—1 ← ユニット名称—連番 ジ゛ョウタイ　：ツウシンカノウ ← 実装状態 バ゛ージ゛ョン：1．2 ← バージョン
3. 「→」「←」で各オプションセットを確認します。	ユニット表示画面 スロットNo　：7 シュベ゛ツ　：IOU—1 ジ゛ョウタイ　：ツウシンカノウ バ゛ージ゛ョン：1．2
4. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーボ゛ード゛　メンテナンス 　システム　インフォメーション →ユニット　インフォメーション 　リレキ　クリア

10. 履歴をクリアする方法

本装置に記録されている各動作履歴をクリアします。

⚠注意：最大件数を超える履歴が発生した場合は、古い履歴から上書きしていきますので、特別な場合を除き操作しないで下さい。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーボ゛ード゛　メンテナンス →メッセージ゛　ロクオン 　システムデ゛ータ
2. 「↓」キー9回＋「確定」キーを押します。 ("→" を「リレキ　クリア」に合わせ「確定」キーを押します。)	履歴クリアメニュー画面 リレキ　クリア →ツウホウ　[005] 　センサ　[020]
3. 「確定」キーを押します。 (例) 通報履歴をクリアする場合 また、以下の操作もできます。 ・「↓」で履歴クリア項目を選択できます。 ・「取消」で履歴クリアメニュー画面になります。	履歴クリア画面 リレキ　クリア 　ツウホウ　[005] カクテイ：クリア
4. 「確定」キー押すとクリアされ履歴クリアメニュー画面になります。	履歴クリアメニュー画面 リレキ　クリア →ツウホウ　[005] 　センサ　[020]
5. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーボ゛ード゛　メンテナンス 　ユニット　インフォメーション →リレキ　クリア 　セキサンチ　クリア

11．積算値をクリアする方法

本装置に記録されている各積算値をクリアします。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

```
キーボ゛ード゛　メンテナンス

→メッセージ゛　ロクオン
　システムデ゛ータ
```

2. 「↓」キー10回＋「確定」キーを押します。
(" →" を「セキサンチ　クリア」に合わせ「確定」キーを押します。)

積算値クリアメニュー画面

```
セキサンチ　クリア

→パ゛ルス　セキサンチ
　ジ゛カン　セキサンチ
```

3. 「確定」キーを押します。
(例) パルス積算値をクリアする場合
また、以下の操作もできます。
・「↓」で積算値クリア項目を選択できます。
・「取消」でメインメニュー画面になります。

クリアNo選択画面

```
パ゛ルス　セキサンチ

→01　　　[12345]
　02　　　[00123]
```

4. 「↑」「↓」「→」「←」でクリアする端子を選択し「確定」キーでクリアされます。
(例) センサ01をクリアする場合
また、以下の操作もできます。
・「取消」で積算値クリアメニュー画面になります。

積算値クリア画面

```
パ゛ルス　セキサンチ

→01　　　[00000]
　02　　　[00123]
```

5. 「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーボ゛ード゛　メンテナンス
　リレキ　クリア
→セキサンチ　クリア
　システム　オール　リセット
```

12．システムをオールリセットする方法

本装置に記録されているシステムデータ及び録音メッセージを全てリセット(出荷時の状態)します。

⚠注意：本装置の状態は、出荷時状態に戻りますので、特別な場合を除き操作しないで下さい。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

```
キーボ゛ード゛　メンテナンス

→メッセージ゛　ロクオン
　システムデ゛ータ
```

2. 「↓」キー11回＋「確定」キーを押します。
(" →" を「システム　オール　リセット」に合わせ「確定」キーを押します。)

オールリセット画面

```
システム　オール　リセット


　　　セッテイ：オールリセット
```

3. 「設定」キーを押すとオールリセットします。
また、以下の操作もできます。
・「取消」でメインメニュー画面になります。

オールリセット中画面

```
オール　リセット　チュウ
```

オールリセット後は、日時設定画面となります。

システム初期化中画面

```
システム　ショキカチュウ
　ボ゛ード゛　ショキカチュウ
```

システム初期化中画面

```
キーボ゛ード゛メンテナンス

　シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ
```

日時設定画面

```
ニチジ゛　セッテイ

ヒヅ゛ケ　ガ゛　ミセッテイデ゛ス
→ヒヅ゛ケ　ヨウビ゛　ジ゛コク
```

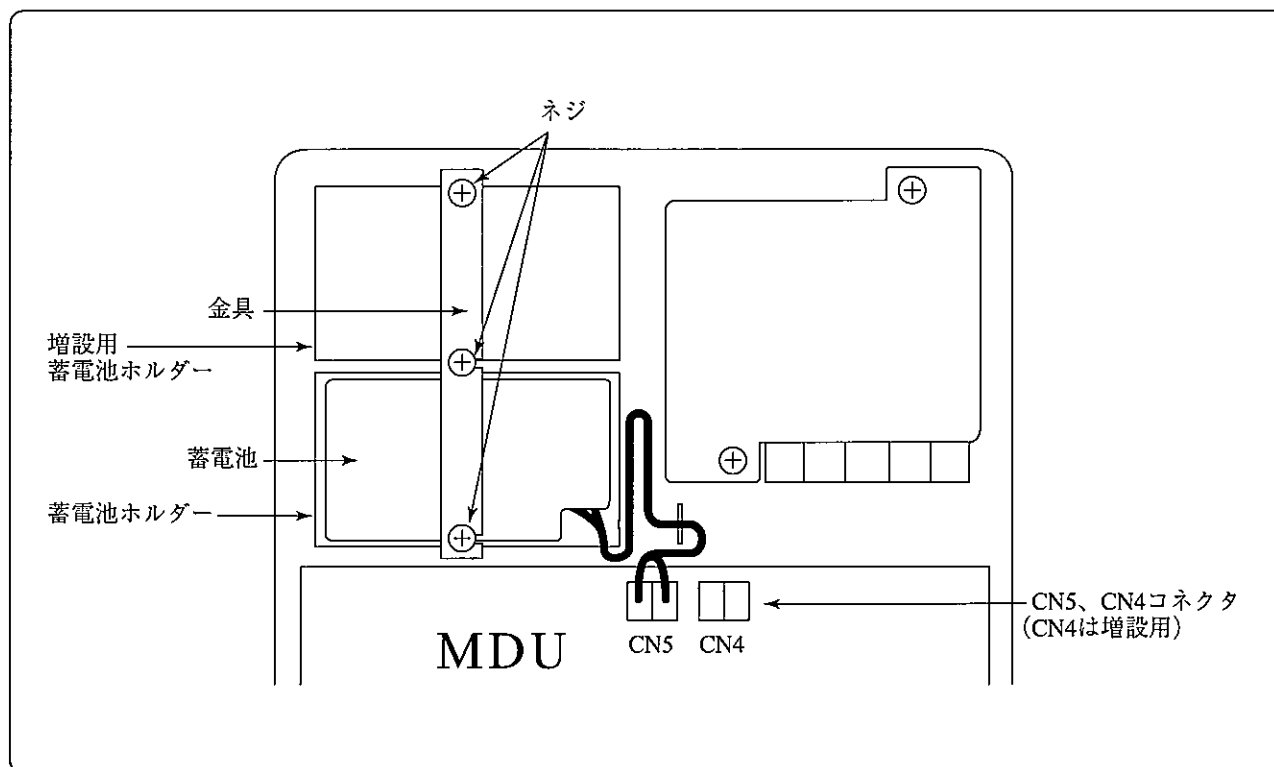
4. 点検について

1. 蓄電池の取付および交換方法

コルソスCS·D7通報装置には、添付品として停電バックアップ用蓄電池が梱包されています。
蓄電池は完全充電状態で6時間(蓄電池の増設により12時間)待機後3宛先へ通報(条件:オプションユニットおよび外部出力電源を使用しない場合)の停電動作が可能です。

お願い ・完全充電に要する時間は48時間以上です。従って、常時完全充電状態にする為、AC電源プラグは絶対に抜かないで下さい。
・蓄電池の寿命は約2年ですので、確実な停電動作を保持する為に2年毎に必ず交換して下さい。

電池品番:EX0303-0030、規格:12V0.8Ah（最寄りの日通工(株)拠点にご依頼下さい。)

①外カバー扉をカギで開け、必ず電源スイッチをOFFにし、内カバー扉の止めネジを緩めて開けます。
②MDUユニットのCN5(CN4)のコネクタをはずします。(交換の場合)
③蓄電池を固定している金具のネジ(3ヶ)をゆるめ、金具を回転させます。
④交換の場合、新しい蓄電池と交換します。
　取付の場合、蓄電池を蓄電池ホルダー(増設用蓄電池ホルダー)に収納します。
⑤蓄電池のコネクタを確実にCN5(CN4)に差し、金具で固定します。
⑥内カバー扉を閉じ、止めネジで固定して、電源スイッチをONにします。
⑦外カバー扉をカギで施錠し、元に戻します。
⑧蓄電池交換年月を「蓄電池交換記録表」に記入します。

蓄電池交換記録表

コルソスCS・D7	設置年月	年	月
蓄 電 池 の 交 換	1回目交換	年	月
	2回目交換	年	月
	3回目交換	年	月

2. システムの点検方法

別紙添付の点検チェックリストに従い、定期的に各項目を確実にご点検下さい。
お客様で点検が不可能な時は、ご購入店、取付工事店または当社に定期保守をご依頼下さい。

3. アフターサービスについて

保証書

添付の保証書は当社取扱店からお渡し致しますので、ご購入日など必要事項が記入されているかお確かめになり、内容をよくお読み頂いた上、大切に保管して下さい。

保証期間はご購入日より1年間です。

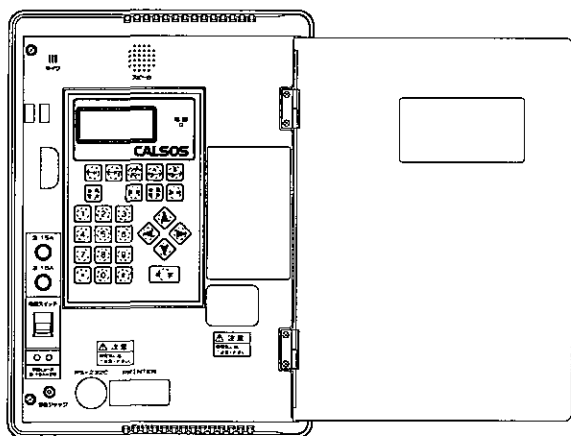
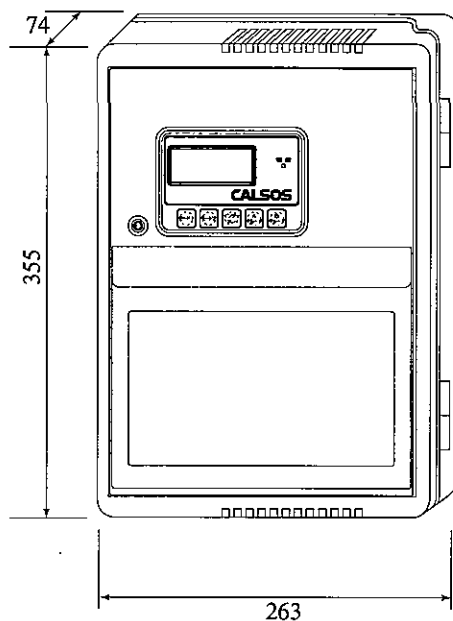
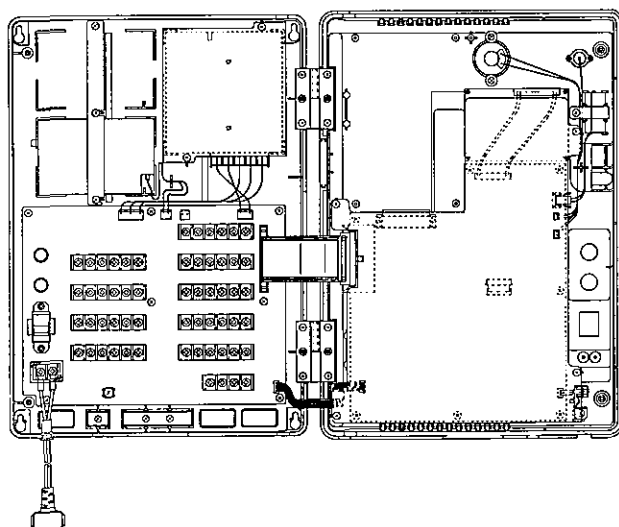
故障かなと思われたら

まず、別紙添付の点検チェックリストに従い、もう一度各項目をご点検下さい。

それでも、異常な場合、

①お客様のご住所、ご氏名(事業所名)、電話番号
②ご購入日(保証書をご確認下さい)およびご購入店
③故障(異常)の詳しい状況
④お客様システム接続図

以上をご確認の上、ご購入店、取付工事店または別紙添付の「商品お問合せ窓口一覧表」の最寄りの窓口にご連絡下さい。

付録　コルソスCS・D7通報装置システム外観図

外カバー扉を開いた状態

内カバー扉を開いた状態

付録　コルソスCS・D7通報装置システム外観図

◆CS・D7通報装置